

第六次塩尻市総合計画策定にかかる 市民アンケート調査結果

報告書

2022年9月
企画政策部企画課

目次

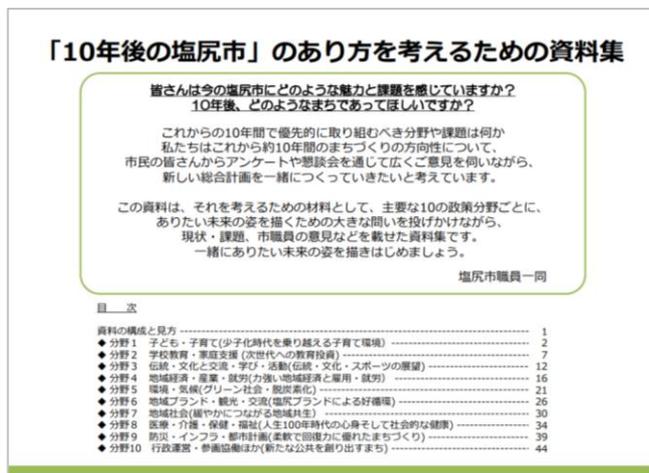
1. 調査概要	3
2. 調査結果	4
(1) 回答者プロフィール	5
(2) これからの10年に向けて投資すべき分野	7
① 投資すべきまちづくりの分野	7
② 大事だと思うまちづくりのキーワード	12
③ 大事だと思うまちづくりのキーワードの選択理由(自由記述)	18
④ まちづくり分野別の充実度評価	24
⑤ 塩尻市の暮らし満足度	25
⑥ 暮らし満足度に対する分野別の影響度	28
⑦ 暮らしの満足度に対するクロス分析	30
(3) ブランドイメージ	31
① まちのイメージ(塩尻市)	31
② 塩尻市の「よいところ」「改善すべきところ」	32
③ 塩尻市の「よいところ」「改善すべきところ」～自由記述の整理(10分野別)	33
④ 塩尻市らしさのキーワード(「〇〇」といえば塩尻市)の想起状況	45
(4) シビックプライド	46
(5) 都市像評価	47
(6) 意見の地図(アンケートや自由意見のまとめ)	48
資料編	51
(3)②「良いところ・改善すべきところ」自由記述(イメージ項目別テキストマイニング)	52
(3)③「良いところ・改善すべきところ」自由記述(10分野別テキストマイニング)	60

1. 調査の概要

- 調査対象者：塩尻市在住の15歳以上の市民 3,000人を無作為抽出
- 調査期間：2022年5月19日～7月12日
- 調査方法：郵送による配布。回答は郵送とWebアンケートの併用

※調査票とともに政策分野ごとに現状・課題等のデータをまとめた資料集を同封

同封の資料集



Web回答画面

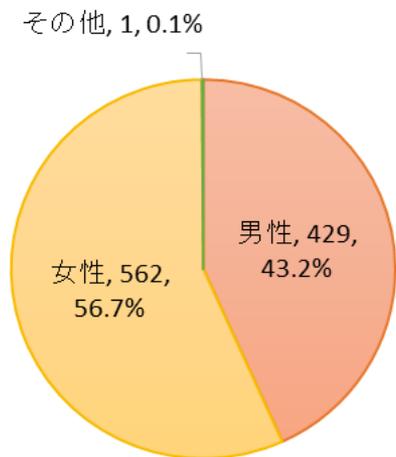


- 回収状況：993サンプル（うちWeb回答 396サンプル）
- 有効回収率：33.1%

2. 調査結果

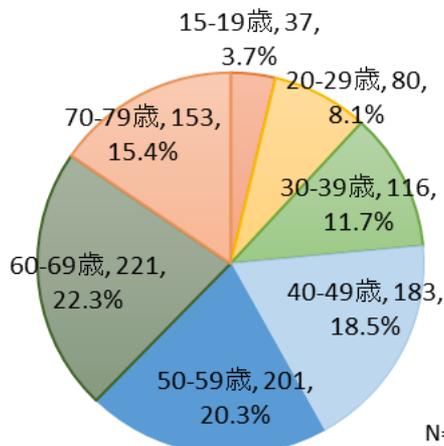
(1) 回答者プロフィール

①性別



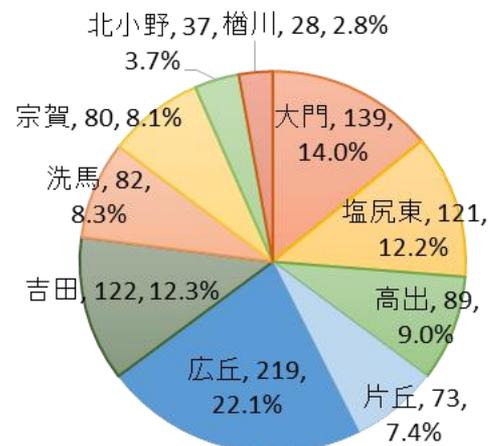
N=992

②年代分布



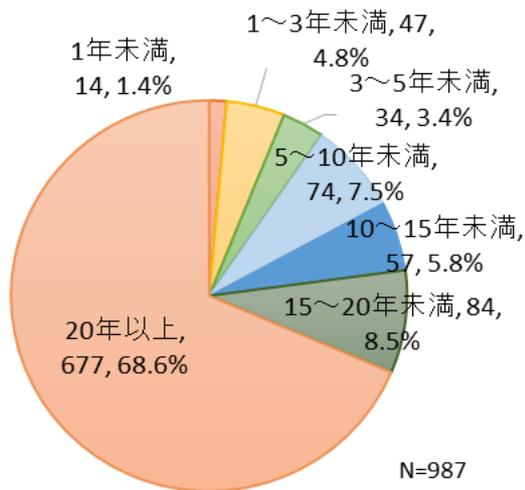
N=991

③地域



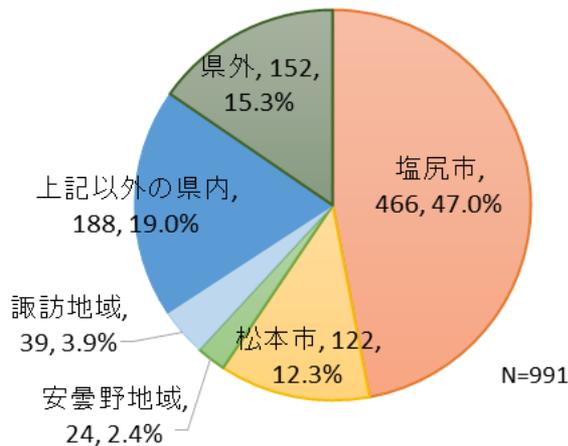
N=990

④居住年数



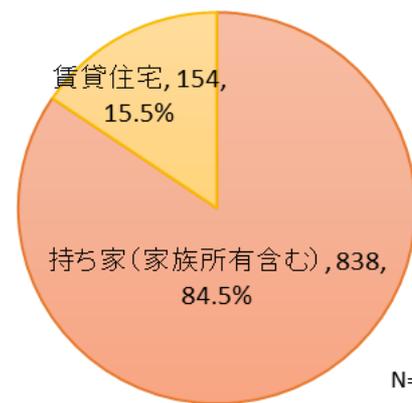
N=987

⑤出身地



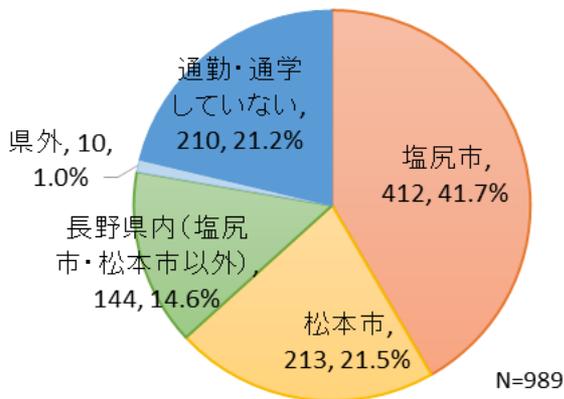
N=991

⑥居住形態

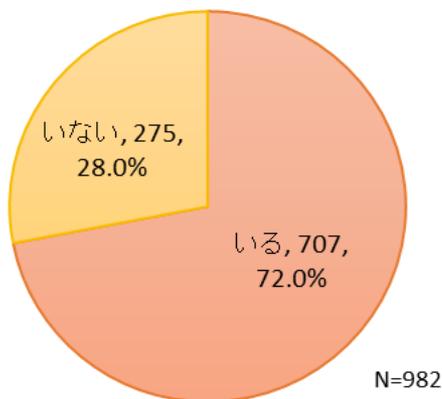


N=992

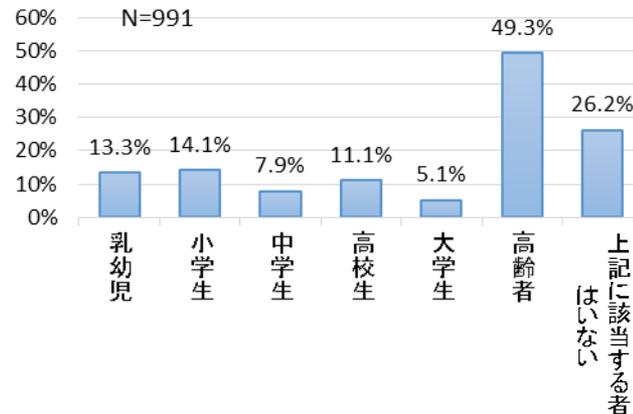
⑦就業地・通学地



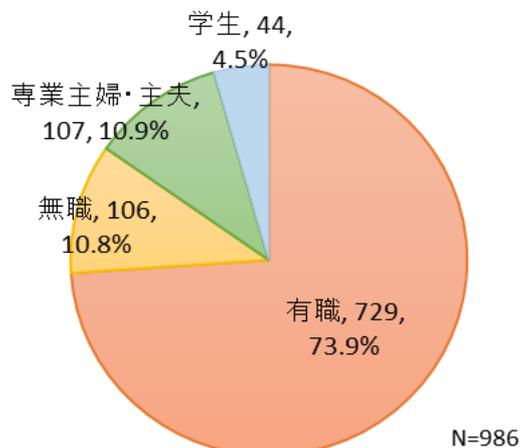
⑧配偶者の有無



⑨該当する家族の有無



⑩就業状況



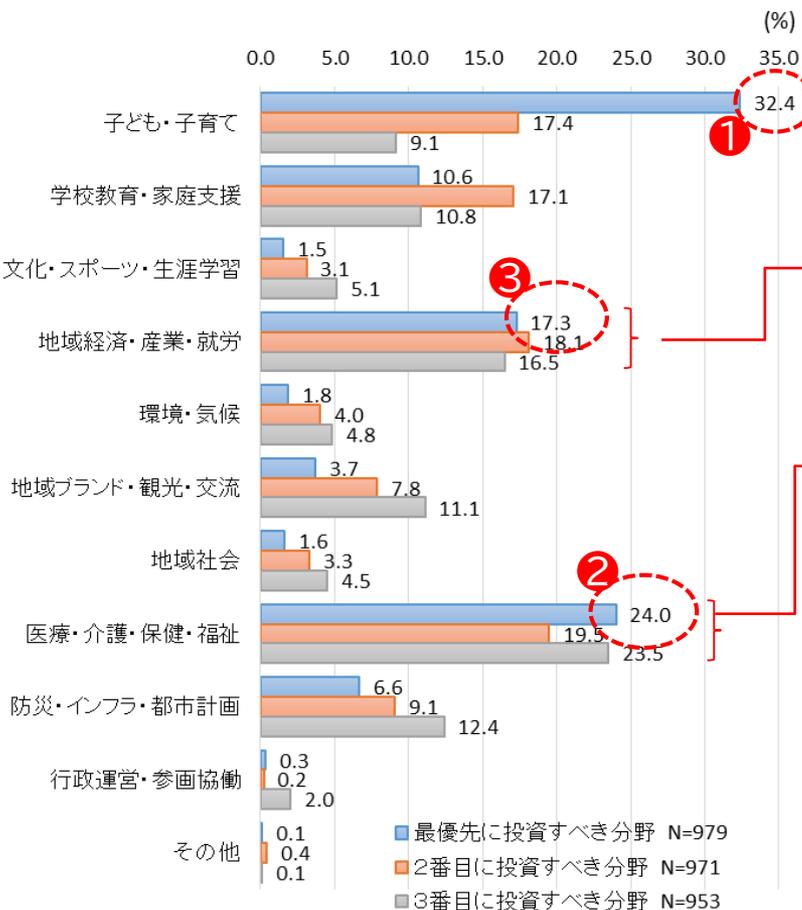
⑪職種×⑫雇用形態

職種	N	経営者・役員	常時雇用の一般従業員(正規の職員・従業員)	臨時雇用、契約社員、パートタイマー、アルバイト	派遣社員	自営業主(非会社組織)	家族従業者
農業	39	10.3%	5.1%	12.8%	0.0%	38.5%	33.3%
漁業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建設業	33	15.2%	51.5%	9.1%	0.0%	24.2%	0.0%
製造業	168	4.8%	64.3%	20.2%	7.1%	2.4%	0.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	9	11.1%	66.7%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
情報通信業	15	0.0%	80.0%	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%
運輸業、郵便業	31	3.2%	61.3%	25.8%	6.5%	3.2%	0.0%
卸売業、小売業	68	8.8%	47.1%	36.8%	1.5%	4.4%	1.5%
金融業、保険業	18	5.6%	88.9%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
不動産業、物品賃貸業	6	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
学術研究、専門・技術サービス業	21	14.3%	52.4%	9.5%	9.5%	14.3%	0.0%
宿泊業、飲食サービス業	29	10.3%	17.2%	62.1%	0.0%	0.0%	10.3%
生活関連サービス業、娯楽業	21	9.5%	19.0%	42.9%	4.8%	14.3%	9.5%
教育、学習支援業	31	3.2%	45.2%	41.9%	0.0%	9.7%	0.0%
医療、福祉	115	6.1%	49.6%	41.7%	0.9%	0.0%	0.9%
複合サービス事業(郵便局・協同組合)	9	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
13~18以外のサービス業	36	13.9%	22.2%	47.2%	0.0%	11.1%	0.0%
公務	58	1.7%	60.3%	34.5%	0.0%	1.7%	0.0%
全体	709	6.9%	50.2%	29.8%	2.7%	6.8%	2.8%

(2) これからの10年に向けて投資すべき分野

① 投資すべきまちづくりの分野

<最優先/2番目/3番目 比較>

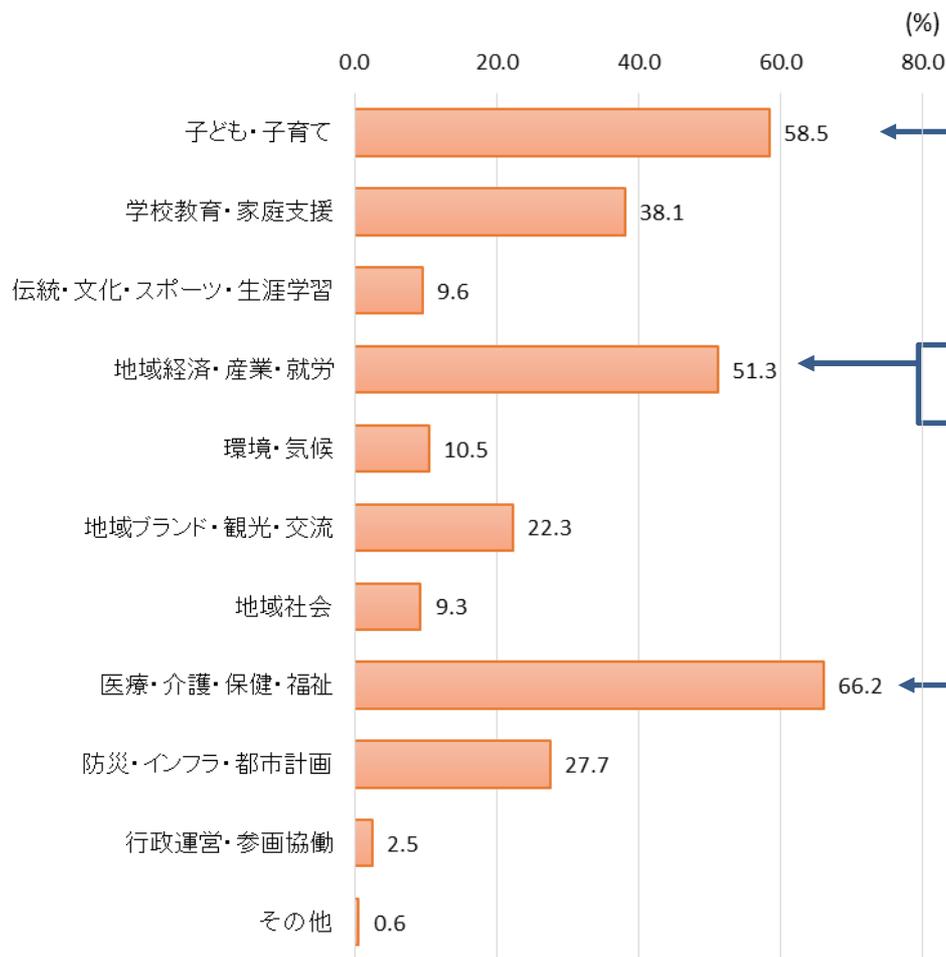


<最優先～3番目の合計回答数>

分野	度数(件)	割合(%) ※人数ベース	割合(%) ※件数ベース
子ども・子育て	573	58.5	19.7
学校教育・家庭支援	373	38.1	12.8
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	94	9.6	3.2
地域経済・産業・就労	502	51.3	17.3
環境・気候	103	10.5	3.5
地域ブランド・観光・交流	218	22.3	7.5
地域社会	91	9.3	3.1
医療・介護・保健・福祉	648	66.2	22.3
防災・インフラ・都市計画	271	27.7	9.3
行政運営・参画協働	24	2.5	0.8
その他	6	0.6	0.2
合計(回答人数)	979		
合計(回答件数)	2,903		

- 最優先投資分野は32.4%の市民が「子ども・子育て」をあげている方が最も多い。次いで、「医療・介護・保健・福祉」「地域経済・産業・就労」の順に多い
- 最優先分野から3番目までを合計すると、「医療・介護・保健・福祉」が最も多くなる。次いで、「子ども・子育て」「地域経済・産業・就労」の順に多い

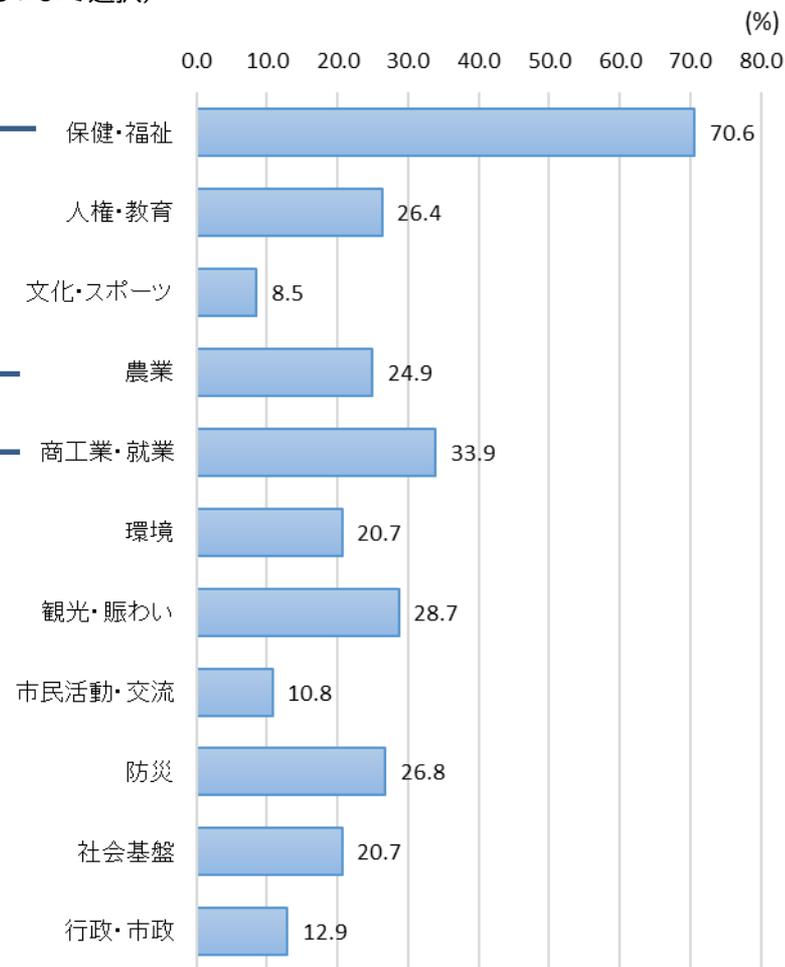
今回調査の「投資すべき分野」(3つまで)



回答人数ベース N=979

【参考】5次総時(H25年)のアンケート

「10年先の塩尻」を考えた時に特に重要な分野
(3つまで選択)



回答人数ベース N=425

<年代別の比較>

※割合は回答人数ベース

※赤字は全体の割合より5ポイント以上大きいもの

	全体	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
子ども・子育て	58.5	43.2	75.9	81.0	57.7	47.3	52.1	60.5
学校教育・家庭支援	38.1	75.7	50.6	59.5	41.2	26.4	31.6	25.9
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	9.6	10.8	8.9	6.9	9.3	12.9	10.2	6.8
地域経済・産業・就労	51.3	37.8	54.4	37.9	51.1	55.7	50.7	59.2
環境・気候	10.5	8.1	8.9	3.4	7.7	11.9	14.9	12.2
地域ブランド・観光・交流	22.3	27.0	24.1	19.0	22.0	24.9	22.8	19.0
地域社会	9.3	5.4	7.6	3.4	9.9	8.5	13.5	10.2
医療・介護・保健・福祉	66.2	51.4	40.5	63.8	65.9	71.6	68.4	75.5
防災・インフラ・都市計画	27.7	24.3	27.8	19.8	26.9	34.8	28.8	24.5
行政運営・参画協働	2.5	2.7	1.3	1.7	4.9	1.5	2.8	1.4
その他	0.6	0.0	0.0	2.6	1.1	0.5	0.0	0.0
(回答人数)	979	37	79	116	182	201	215	147

【参考】 塩尻市職員アンケート「これからの10年で重要だと思う個別分野」（R3年度実施）

5つまで回答

※回答人数ベース

	全体	20代以下	30代	40代	50代以上
子ども・子育て	39.5	39.1	35.2	41.8	41.9
学校教育	18.0	11.6	21.6	19.8	17.4
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	12.3	7.2	11.4	14.3	15.1
地域経済・産業・就労	30.2	37.7	29.5	29.7	25.6
環境・気候	14.1	5.8	15.9	16.5	16.3
観光・交流・地域ブランド	24.6	39.1	25.0	19.8	17.4
地域社会	20.7	13.0	14.8	23.1	30.2
医療・介護・保健・福祉	27.5	23.2	20.5	26.4	39.5
防災・都市計画・インフラ	35.3	26.1	28.4	50.5	33.7
行政運営・参画協働	15.9	18.8	14.8	9.9	20.9
その他	3.6	0.0	4.5	2.2	7.0
回答人数(人)	334	69	88	91	86

- 年代別の傾向をみると、10代は「学校教育・家庭支援」、20～30代は「子ども・子育て」、50代以上で「医療・介護・保健・福祉」、70代で「地域経済・産業・就労」を投資分野としてあげる人の割合が多い⇒分野それぞれの**受益者世代で関心が高くなる傾向**
- 参考として市職員の考える重要分野とは、一人当たりの回答数が異なる違いはあるが、**市民の方が3つの分野により集中している**

<地域別の比較>

※割合は回答人数ベース
 ※市街地＝大門、高出、広丘、吉田の4地区とした
 ※赤字は全体の割合より5ポイント以上大きいもの

■最優先に投資すべき分野

	全体	大門	塩尻東	高出	片丘	広丘	吉田	洗馬	宗賀	北小野	檜川	市街地	市街地以外
子ども・子育て	32.4	33.1	34.5	31.5	28.8	34.1	29.8	36.7	32.1	13.5	44.4	32.5	32.2
学校教育・家庭支援	10.6	14.7	6.7	10.1	11.0	13.8	9.1	10.1	7.7	5.4	3.7	12.4	8.0
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	1.5	2.2	1.7	3.4	2.7	0.5	1.7	0.0	2.6	0.0	0.0	1.6	1.5
地域経済・産業・就労	17.3	20.6	10.9	20.2	26.0	15.7	15.7	20.3	14.1	16.2	18.5	17.6	16.9
環境・気候	1.8	1.5	4.2	1.1	1.4	1.4	0.8	1.3	1.3	8.1	0.0	1.2	2.7
地域ブランド・観光・交流	3.7	4.4	6.7	2.2	2.7	0.9	5.0	7.6	1.3	8.1	0.0	2.8	4.8
地域社会	1.6	1.5	2.5	0.0	4.1	1.8	2.5	0.0	1.3	0.0	0.0	1.6	1.7
医療・介護・保健・福祉	24.0	14.7	26.1	24.7	15.1	24.0	29.8	19.0	33.3	35.1	29.6	23.1	25.2
防災・インフラ・都市計画	6.7	6.6	5.9	6.7	8.2	7.4	5.8	5.1	5.1	13.5	3.7	6.7	6.5
行政運営・参画協働	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.4	0.2
その他	0.1	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
(回答人数)	976	136	119	89	73	217	121	79	78	37	27	563	413

■最優先～3番目に投資すべき分野の合計

	全体	大門	塩尻東	高出	片丘	広丘	吉田	洗馬	宗賀	北小野	檜川	市街地	市街地以外
子ども・子育て	58.5	60.3	59.7	50.6	61.6	59.0	54.5	64.6	56.4	56.8	66.7	57.0	60.5
学校教育・家庭支援	38.1	41.9	34.5	43.8	32.9	39.6	37.2	40.5	37.2	21.6	37.0	40.3	34.9
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	9.6	10.3	10.9	9.0	5.5	11.1	8.3	8.9	10.3	10.8	7.4	9.9	9.2
地域経済・産業・就労	51.3	60.3	46.2	53.9	54.8	51.2	46.3	51.9	48.7	51.4	40.7	52.8	49.4
環境・気候	10.5	9.6	13.4	10.1	9.6	11.5	9.1	7.6	9.0	13.5	14.8	10.3	10.9
地域ブランド・観光・交流	22.3	20.6	22.7	16.9	32.9	19.4	26.4	24.1	23.1	27.0	11.1	20.8	24.5
地域社会	9.3	11.0	13.4	9.0	9.6	5.5	14.0	6.3	9.0	5.4	7.4	9.2	9.4
医療・介護・保健・福祉	66.2	57.4	66.4	73.0	56.2	65.9	67.8	65.8	79.5	64.9	70.4	65.4	67.1
防災・インフラ・都市計画	27.7	21.3	30.3	27.0	31.5	30.0	28.9	22.8	23.1	37.8	29.6	27.2	28.3
行政運営・参画協働	2.5	4.4	0.8	3.4	1.4	2.3	4.1	1.3	2.6	0.0	0.0	3.4	1.2
その他	0.6	1.5	0.8	0.0	0.0	0.5	0.0	1.3	0.0	0.0	3.7	0.5	0.7
(回答人数)	979	136	119	89	73	217	121	79	78	37	27	563	413

- 全体としては、市街地と市街地以外で投資すべき分野に対する考え方は大きくは変わらない。
- 個別にみると、檜川地区や洗馬地区で「子ども・子育て」分野を重視する傾向がやや高い。また、中心市街地である大門地区では「地域経済・産業・就労」分野に関心が高いほか、吉田、宗賀、北小野、檜川地区で「医療・介護・保健・福祉」を最優先と考える人の割合が高い。

<その他の層別比較>

※割合は回答人数ベース
 ※赤字は全体の割合より5ポイント以上大きいもの
 ※青字は全体の割合より5ポイント以上小さいもの
 (%)

■最優先に投資すべき分野

	全体	性別		就業状況		出身地		暮らし満足度			市への愛着度			シビックプライド			世帯構成			
		男性	女性	働いている	働いていない(主婦、学生含む)	市内出身	市外出身	暮らしに満足・計	どちらともいえない	暮らしに不満足・計	愛着を感じる・計	どちらともいえない	愛着を感じない・計	誇りを感じる・計	どちらともいえない	誇りを感じない・計	乳幼児のいる世帯	小中学生のいる世帯	高校・大学生の有無	高齢者のいる世帯
子ども・子育て	32.4	34.8	30.6	31.8	34.3	30.0	34.6	34.4	31.6	24.1	34.2	32.8	18.6	33.7	36.7	20.7	61.4	39.3	21.6	31.0
学校教育・家庭支援	10.6	9.9	11.0	10.5	10.8	10.4	10.5	9.3	13.3	11.5	9.9	10.9	15.7	11.3	9.5	10.4	8.3	20.2	23.7	9.9
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	1.5	1.7	1.4	1.8	0.8	2.0	1.1	1.9	0.8	2.3	1.8	-	2.0	1.9	0.7	1.8	-	0.5	1.4	1.9
地域経済・産業・就労	17.3	18.9	16.0	18.3	14.3	19.8	15.1	18.3	16.7	14.9	18.1	10.9	18.6	16.6	15.5	22.0	12.1	8.7	12.2	17.6
環境・気候	1.8	1.9	1.8	1.4	3.2	2.2	1.5	1.7	2.7	-	1.8	3.1	1.0	0.4	4.2	2.4	-	1.6	2.2	1.0
地域ブランド・観光・交流	3.7	5.0	2.7	3.9	3.2	2.4	4.8	4.2	2.7	4.6	3.5	3.1	5.9	3.3	3.5	5.5	5.3	3.8	4.3	3.4
地域社会	1.6	0.7	2.3	1.5	1.6	1.3	1.9	1.9	1.5	1.1	1.9	0.8	1.0	2.1	0.7	1.8	-	1.6	0.7	1.9
医療・介護・保健・福祉	24.0	18.2	28.5	23.1	26.7	24.7	23.5	20.8	26.2	29.9	22.5	32.0	25.5	23.1	25.1	25.6	9.1	16.9	25.9	25.8
防災・インフラ・都市計画	6.6	8.3	5.4	7.3	4.8	6.8	6.5	6.9	4.2	11.5	6.0	6.3	10.8	7.5	3.2	9.1	3.0	6.0	7.2	6.9
行政運営・参画協働	0.3	0.5	0.2	0.3	0.4	0.2	0.4	0.3	0.4	-	0.3	-	1.0	-	0.7	0.6	0.8	1.1	0.7	0.4
その他	0.1	0.2	-	0.1	-	0.2	-	0.2	-	-	0.1	-	-	0.2	-	-	-	-	-	0.2
(回答人数)	979	423	555	723	251	454	523	578	263	87	739	128	102	523	283	164	132	183	139	477

■最優先～3番目に投資すべき分野の合計

	全体	性別		就業状況		出身地		暮らし満足度			市への愛着度			シビックプライド			世帯構成			
		男性	女性	働いている	働いていない(主婦、学生含む)	市内出身	市外出身	暮らしに満足・計	どちらともいえない	暮らしに不満足・計	愛着を感じる・計	どちらともいえない	愛着を感じない・計	誇りを感じる・計	どちらともいえない	誇りを感じない・計	乳幼児のいる世帯	小中学生のいる世帯	高校・大学生の有無	高齢者のいる世帯
子ども・子育て	58.5	60.0	57.3	59.2	57.4	56.2	60.4	62.1	55.5	43.7	61.0	59.4	40.2	62.1	60.1	45.1	89.4	72.1	51.1	54.3
学校教育・家庭支援	38.1	35.7	39.8	37.8	39.4	36.8	39.0	38.4	38.0	35.6	38.6	35.2	38.2	40.2	36.7	33.5	59.1	59.0	55.4	31.9
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	9.6	12.3	7.6	10.2	7.6	10.4	9.0	11.6	5.7	8.0	11.0	4.7	5.9	12.6	6.4	5.5	5.3	5.5	9.4	10.1
地域経済・産業・就労	51.3	56.0	47.7	53.3	45.8	56.2	47.2	51.4	53.6	48.3	51.6	46.9	55.9	50.3	51.2	55.5	43.2	41.0	48.9	51.2
環境・気候	10.5	10.6	10.5	9.3	13.9	10.6	10.3	9.0	12.2	14.9	10.4	10.2	12.7	7.5	15.2	12.8	1.5	7.1	6.5	12.2
地域ブランド・観光・交流	22.3	24.3	20.7	23.1	19.9	21.6	22.9	21.6	22.8	24.1	22.7	17.2	25.5	21.0	21.9	26.8	22.0	20.2	26.6	21.6
地域社会	9.3	7.1	11.0	9.1	9.2	8.4	10.1	9.5	7.6	16.1	9.2	7.0	12.7	9.4	7.4	12.2	2.3	9.3	8.6	11.1
医療・介護・保健・福祉	66.2	56.7	73.3	64.3	70.9	66.5	66.0	64.2	71.1	62.1	65.2	72.7	64.7	66.9	65.0	65.9	57.6	59.0	59.7	70.6
防災・インフラ・都市計画	27.7	28.1	27.4	27.8	27.5	27.3	28.1	27.2	25.9	34.5	25.4	35.9	31.4	24.5	29.3	33.5	17.4	20.8	25.2	30.2
行政運営・参画協働	2.5	3.3	1.8	2.5	2.4	1.8	3.1	2.1	1.9	5.7	1.6	3.9	6.9	1.5	2.8	4.9	2.3	2.7	2.9	2.7
その他	0.6	0.7	0.5	0.6	0.8	0.4	0.8	0.7	-	2.3	0.5	0.8	1.0	0.6	0.7	0.6	-	-	-	0.6
(回答人数)	979	423	555	723	251	454	523	578	263	87	739	128	102	523	283	164	132	183	139	477

- ▶ その他の層別で投資すべき分野をみると、乳幼児のいる家庭で「子ども・子育て」分野をあげる人の割合がきわめて高い。また、小中学生や高校・大学生のいる世帯では「学校教育・家庭支援」分野を重視する割合が高い。
- ▶ また、男性よりも女性の方が「医療・介護・保健・福祉」分野をより重視する傾向がある。
- ▶ 暮らし満足度の低い層において、「医療・介護・保健・福祉」を最優先にあげる割合が高いほか、「地域社会」「防災・インフラ・都市計画」を重視する傾向がみられる。

②大事だと思ふまちづくりのキーワード

■1番目～5番目に大事なキーワードの合計

		度数(件)	割合(%) ※人数ベース	割合(%) ※件数ベース
子ども・子育て	1 少子化対策 ①	329	34.7	7.8
	2 産む環境の整備 ③	261	27.5	6.2
	3 保育人材の確保	106	11.2	2.5
	4 相談・支援体制の整備	100	10.5	2.4
学校教育・家庭支援	5 特色ある教育	96	10.1	2.3
	6 不登校対策	74	7.8	1.7
	7 発達・特別支援の対応	60	6.3	1.4
	8 インクルーシブ教育の推進	25	2.6	0.6
	9 子どもの貧困対策 ⑨	125	13.2	3.0
	10 デジタル技術の活用	80	8.4	1.9
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	11 文化・歴史・文化財の継承	64	6.8	1.5
	12 スポーツの振興	49	5.2	1.2
	13 課題解決型図書館	0	0.0	0.0
	14 生涯学習・継続的な学び	33	3.5	0.8
地域経済・産業・就労	15 雇用対策・Uターン就職促進 ⑤	227	23.9	5.4
	16 地域内循環・エコシステムの促進	23	2.4	0.5
	17 農林業の振興 ⑥	151	15.9	3.6
	18 商業・サービス業の振興 ⑩	123	13.0	2.9
	19 工業、企業誘致の推進	115	12.1	2.7
	20 稼ぐ力の向上、労働生産性の向上、高付加価値化	84	8.9	2.0
	21 AI・ロボット化	24	2.5	0.6
環境・気候	22 気候変動への対応	77	8.1	1.8
	23 脱炭素(カーボンニュートラル)の推進	28	3.0	0.7
	24 グリーン成長戦略への対応	7	0.7	0.2
	25 再生可能エネルギーの導入	53	5.6	1.3

- 大事だと思ふまちづくりのキーワードは、「少子化対策」「医療体制の充実」「産む環境の整備」「医療・介護人材の確保」「雇用対策・Uターン就職促進」がベスト5
- 社会潮流的には重要キーワードといえる脱炭素など環境・気候分野や、DXなど行政改革分野の市民の関心は高くない

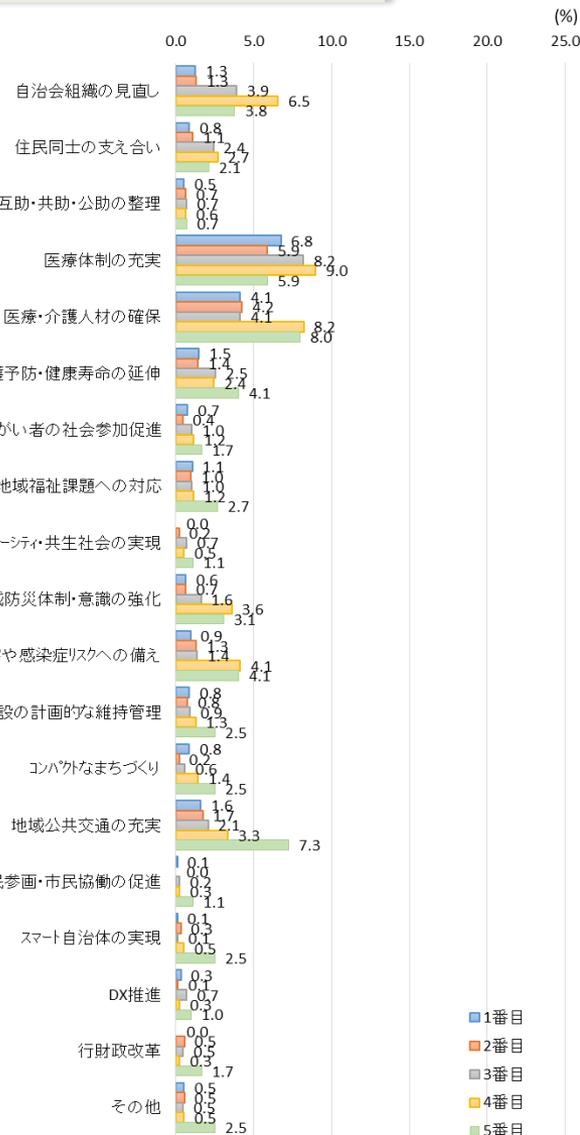
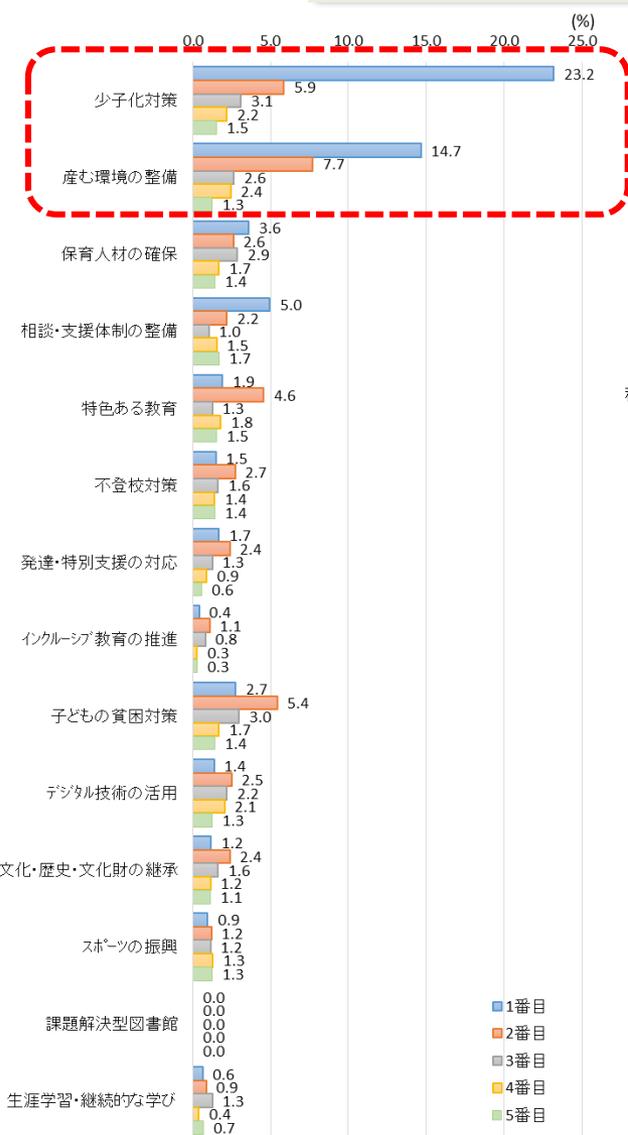
		度数(件)	割合(%) ※人数ベース	割合(%) ※件数ベース
地域ブランド・観光・交流	26 ビックサイト、市への愛着の醸成	28	3.0	0.7
	27 塩尻地域ブランドの確立	98	10.3	2.3
	28 ワイン・漆器など地場産業の振興	72	7.6	1.7
	29 観光資源の磨き上げ	53	5.6	1.3
	30 稼げる観光地づくり	113	11.9	2.7
	31 塩尻ファンや関係人口の獲得	46	4.9	1.1
地域社会	32 自治会組織の見直し ⑦	136	14.3	3.2
	33 住民同士の支え合い	75	7.9	1.8
	34 自助・互助・共助・公助の整理	27	2.8	0.6
	35 医療体制の充実 ②	301	31.8	7.1
医療・介護・福祉	36 医療・介護人材の確保 ④	235	24.8	5.6
	37 介護予防・健康寿命の延伸	97	10.2	2.3
	38 障がい者の社会参加促進	41	4.3	1.0
	39 複合的な地域福祉課題への対応	56	5.9	1.3
	40 ガバナンス・共生社会の実現	20	2.1	0.5
	41 地域防災体制・意識の強化	76	8.0	1.8
防災・インフラ・都市計画	42 自然災害や感染症リスクへの備え	94	9.9	2.2
	43 公共施設の計画的な維持管理	51	5.4	1.2
	44 コバ外なまちづくり	44	4.6	1.0
	45 地域公共交通の充実 ⑧	127	13.4	3.0
	46 市民参画・市民協働の促進	13	1.4	0.3
行政運営・参画協働	47 スマート自治体の実現	27	2.8	0.6
	48 DX推進	19	2.0	0.4
	49 行財政改革	23	2.4	0.5
その他	50 その他	36	3.8	0.9
合計(回答人数)		948		
合計(回答件数)		4,233		

その他の主なキーワード(抜粋)

- 教育現場の教師の負担軽減、教員の人材確保
- 高校卒業後の進学の金銭的な支援
- お金に関する教育
- 農地の宅地化推進
- 住環境の整備(マンション、住宅地の整備)
- 空き家対策
- 道路整備
- 市のゴミ処理場の建設

<回答順番別>

➤ 選択肢の順番が影響している可能性はあるが「少子化対策」「産む環境」が最初にあげられることが多い。



<年代別の合計回答数の比較>

※割合は各年代の回答人数ベース

		全体	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
子ども・子育て	少子化対策	34.7	33.3	35.9	41.7	29.2	28.2	36.8	41.4
	産む環境の整備	27.5	19.4	35.9	38.3	28.7	19.5	23.5	32.1
	保育人材の確保	11.2	5.6	21.8	15.7	13.5	11.3	7.4	5.7
	相談・支援体制の整備	10.5	11.1	12.8	18.3	9.6	8.7	11.3	5.7
学校教育・家庭支援	特色ある教育	10.1	8.3	11.5	13.9	9.6	7.2	11.3	9.3
	不登校対策	7.8	33.3	7.7	7.0	10.1	6.7	4.4	5.7
	発達・特別支援の対応	6.3	13.9	1.3	12.2	8.4	6.7	3.4	3.6
	インクルーシブ教育の推進	2.6	0.0	3.8	3.5	5.1	1.5	2.5	0.7
	子どもの貧困対策	13.2	27.8	10.3	14.8	14.6	11.8	13.7	8.6
	デジタル技術の活用	8.4	16.7	14.1	14.8	10.7	6.7	3.9	2.9
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	文化・歴史・文化財の継承	6.8	8.3	3.8	3.5	4.5	8.2	7.4	10.7
	スポーツの振興	5.2	5.6	6.4	5.2	9.0	6.7	2.5	1.4
	課題解決型図書館	0.0	2.8	1.3	2.6	0.6	0.5	1.0	1.4
	生涯学習・継続的な学び	3.5	11.1	1.3	1.7	1.1	5.6	4.4	2.9
地域経済・産業・就労	雇用対策・Uターン就職促進	23.9	13.9	21.8	27.0	23.6	26.7	22.1	25.0
	地域内循環・エコシステムの促進	2.4	0.0	5.1	3.5	2.2	1.5	3.9	0.0
	農林業の振興	15.9	16.7	3.8	9.6	13.5	15.4	23.0	21.4
	商業・サービス業の振興	13.0	11.1	16.7	20.9	11.8	14.9	10.8	7.1
	工業、企業誘致の推進	12.1	0.0	9.0	5.2	14.0	14.4	14.7	13.6
	稼ぐ力の向上、労働生産性の向上、高付加価値化	8.9	5.6	14.1	9.6	9.6	7.7	8.3	7.1
環境・気候	AI・IoT化	2.5	2.8	2.6	0.9	5.1	2.6	2.0	1.4
	気候変動への対応	8.1	5.6	5.1	5.2	3.4	10.3	11.3	10.7
	脱炭素(カーボンニュートラル)の推進	3.0	5.6	1.3	0.0	1.7	2.1	6.9	2.9
	グリーン成長戦略への対応	0.7	0.0	1.3	0.0	0.0	1.0	1.0	1.4
	再生可能エネルギーの導入	5.6	5.6	3.8	2.6	5.6	5.6	7.8	5.7
地域ブランド・観光・交流	シビックプライド、市への愛着の醸成	3.0	5.6	1.3	3.5	1.7	4.6	1.5	4.3
	塩尻地域ブランドの確立	10.3	2.8	9.0	7.8	12.9	11.8	9.8	10.7
	ワイン・漆器など地場産業の振興	7.6	19.4	10.3	4.3	3.9	8.7	7.8	8.6
	観光資源の磨き上げ	5.6	8.3	3.8	2.6	6.2	7.2	8.3	1.4
地域社会	稼げる観光地づくり	11.9	5.6	11.5	18.3	10.1	12.3	11.8	10.7
	塩尻ファンや関係人口の獲得	4.9	2.8	2.6	6.1	9.0	5.1	3.4	2.1
	自治会組織の見直し	14.3	8.3	5.1	12.2	18.5	13.8	13.2	20.0
	住民同士の支え合い	7.9	2.8	6.4	2.6	3.9	7.7	10.3	16.4
	自助・互助・共助・公助の整理	2.8	0.0	1.3	0.9	3.4	3.1	2.9	5.0
医療・介護・保健・福祉	医療体制の充実	31.8	27.8	23.1	38.3	36.0	31.3	29.4	30.7
	医療・介護人材の確保	24.8	19.4	16.7	16.5	21.9	29.7	27.9	30.0
	介護予防・健康寿命の延伸	10.2	5.6	2.6	7.8	7.3	13.3	10.3	17.1
	障がい者の社会参加促進	4.3	2.8	5.1	0.9	5.1	5.6	4.4	4.3
	複合的な地域福祉課題への対応	5.9	2.8	1.3	0.9	7.3	9.2	6.9	5.7
防災・インフラ・都市計画	ダイバーシティ・共生社会の実現	2.1	0.0	0.0	0.9	3.4	3.1	3.4	0.0
	地域防災体制・意識の強化	8.0	8.3	3.8	3.5	7.3	7.2	12.7	8.6
	自然災害や感染症リスクへの備え	9.9	0.0	6.4	6.1	10.1	11.8	11.3	12.9
	公共施設の計画的な維持管理	5.4	11.1	2.6	2.6	4.5	5.6	7.8	5.0
行政運営・参画協働	コハクなまちづくり	4.6	0.0	5.1	0.9	3.4	6.7	5.9	5.7
	地域公共交通の充実	13.4	13.9	14.1	7.8	12.4	16.4	13.7	14.3
	市民参画・市民協働の促進	1.4	0.0	0.0	0.0	1.7	1.0	1.0	4.3
	スマート自治体の実現	2.8	0.0	7.7	0.9	2.2	1.5	2.9	5.0
その他	DX推進	2.0	0.0	3.8	1.7	2.2	2.1	1.0	2.9
	行財政改革	2.4	0.0	2.6	2.6	2.8	1.0	2.9	3.6
	その他	3.8	5.6	2.6	4.3	5.1	4.6	3.4	1.4
	(回答人数)	948	36	78	115	178	195	204	140

- 年代別の傾向をみると、30代と高齢層で「少子化対策」のキーワードをあげる人が多い
- その他、30代では「産む環境の整備」、10代で「不登校対策」や「子どもの貧困対策」など学校教育・家庭支援分野のキーワードが、全体よりも高い傾向がみられる

全体の割合に比べ
10%以上高い

全体の割合に比べ
5%以上高い

<10地域別の比較①>

■1番目～5番目に大事なキーワードの合計

※割合は回答人数ベース
 ※赤字は全体の割合より5ポイント以上大きいもの

	全体	大門	塩尻東	高出	片丘	広丘	吉田	洗馬	宗賀	北小野	檜川	
子ども・子育て	少子化対策	34.7	32.3	38.3	28.2	37.0	34.3	31.9	38.2	33.8	37.8	51.9
	産む環境の整備	27.5	31.6	25.2	28.2	27.4	24.3	28.4	31.6	29.7	35.1	11.1
	保育人材の確保	11.2	13.5	10.4	10.6	6.8	14.3	11.2	11.8	5.4	8.1	11.1
	相談・支援体制の整備	10.5	12.0	7.8	10.6	9.6	16.2	12.9	7.9	4.1	0.0	3.7
学校教育・家庭支援	特色ある教育	10.1	11.3	9.6	9.4	12.3	8.6	15.5	7.9	5.4	8.1	14.8
	不登校対策	7.8	4.5	7.0	7.1	6.8	9.0	6.9	10.5	9.5	10.8	11.1
	発達・特別支援の対応	6.3	10.5	7.0	4.7	4.1	5.7	5.2	9.2	2.7	5.4	7.4
	インクルーシブ教育の推進	2.6	1.5	1.7	2.4	2.7	5.7	1.7	1.3	2.7	0.0	0.0
	子どもの貧困対策	13.2	11.3	14.8	11.8	17.8	16.7	10.3	13.2	10.8	5.4	7.4
	デジタル技術の活用	8.4	6.8	7.0	15.3	9.6	9.5	6.9	3.9	6.8	8.1	11.1
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	文化・歴史・文化財の継承	6.8	3.0	13.0	12.9	0.0	7.6	0.9	3.9	4.1	16.2	18.5
	スポーツの振興	5.2	8.3	4.3	5.9	5.5	7.1	3.4	2.6	4.1	0.0	0.0
	課題解決型図書館、生涯学習・継続的な学び	0.0	0.8	1.7	0.0	1.4	1.0	2.6	0.0	2.7	0.0	0.0
地域経済・産業・就労	雇用対策・Uターン就職促進	23.9	22.6	21.7	18.8	24.7	25.2	30.2	30.3	23.0	13.5	18.5
	地域内循環・エコシステムの促進	2.4	4.5	1.7	0.0	1.4	2.4	4.3	1.3	1.4	2.7	3.7
	農林業の振興	15.9	14.3	20.9	10.6	19.2	13.3	7.8	25.0	20.3	21.6	22.2
	商業・サービス業の振興	13.0	15.0	8.7	17.6	5.5	11.4	17.2	14.5	17.6	8.1	11.1
	工業、企業誘致の推進	12.1	15.0	13.0	15.3	17.8	13.3	6.0	7.9	6.8	10.8	14.8
	稼ぐ力の向上、労働生産性の向上、高付加価値化	8.9	6.8	10.4	10.6	8.2	7.6	11.2	15.8	5.4	5.4	0.0
	AIロボット化	2.5	2.3	2.6	4.7	2.7	2.9	2.6	1.3	1.4	0.0	3.7
環境・気候	気候変動への対応	8.1	6.8	10.4	2.4	11.0	8.1	8.6	5.3	2.7	24.3	14.8
	脱炭素(カーボンニュートラル)の推進	3.0	2.3	3.5	4.7	6.8	1.9	1.7	0.0	4.1	8.1	0.0
	グリーン成長戦略への対応	0.7	0.0	0.0	0.0	2.7	1.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生可能エネルギーの導入	5.6	6.8	4.3	3.5	4.1	5.7	5.2	6.6	2.7	13.5	11.1
地域ブランド・観光・交流	シビックプライド、市への愛着の醸成	3.0	3.0	4.3	3.5	2.7	2.9	2.6	1.3	2.7	2.7	3.7
	塩尻地域ブランドの確立	10.3	12.8	7.8	11.8	13.7	7.1	17.2	10.5	6.8	5.4	7.4
	ワイン・漆器など地場産業の振興	7.6	8.3	7.0	8.2	5.5	6.2	6.9	6.6	13.5	10.8	7.4
	観光資源の磨き上げ	5.6	7.5	8.7	4.7	4.1	3.8	6.0	5.3	5.4	2.7	7.4
	稼げる観光地づくり	11.9	14.3	14.8	10.6	15.1	8.6	10.3	14.5	10.8	16.2	7.4
	塩尻ファンや関係人口の獲得	4.9	7.5	7.0	2.4	2.7	4.3	1.7	10.5	4.1	5.4	0.0

<10地域別の比較②>

※割合は回答人数ベース
 ※赤字は全体の割合より5ポイント以上大きいもの

		全体	大門	塩尻東	高出	片丘	広丘	吉田	洗馬	宗賀	北小野	檜川
地域社会	自治会組織の見直し	14.3	15.8	16.5	17.6	15.1	9.5	12.1	15.8	13.5	24.3	14.8
	住民同士の支え合い	7.9	6.8	7.8	10.6	8.2	7.1	9.5	7.9	8.1	8.1	3.7
	自助・互助・共助・公助の整理	2.8	2.3	2.6	1.2	8.2	1.4	3.4	2.6	2.7	0.0	11.1
医療・介護・保健・福祉	医療体制の充実	31.8	30.8	39.1	36.5	21.9	31.9	29.3	25.0	41.9	21.6	29.6
	医療・介護人材の確保	24.8	24.1	25.2	12.9	20.5	28.6	25.9	22.4	36.5	24.3	18.5
	介護予防・健康寿命の延伸	10.2	6.0	11.3	15.3	6.8	9.5	15.5	11.8	6.8	10.8	7.4
	障がい者の社会参加促進	4.3	3.0	0.9	4.7	1.4	6.2	4.3	10.5	4.1	2.7	3.7
	複合的な地域福祉課題への対応	5.9	2.3	3.5	3.5	9.6	5.2	10.3	1.3	9.5	13.5	11.1
	ダイバーシティ・共生社会の実現	2.1	3.8	1.7	0.0	4.1	2.4	0.0	0.0	4.1	0.0	7.4
防災・インフラ・都市計画	地域防災体制・意識の強化	8.0	8.3	7.0	2.4	8.2	10.5	5.2	10.5	4.1	10.8	22.2
	自然災害や感染症リスクへの備え	9.9	11.3	12.2	5.9	13.7	8.1	11.2	5.3	10.8	18.9	3.7
	公共施設の計画的な維持管理	5.4	8.3	4.3	4.7	4.1	4.3	6.0	3.9	6.8	10.8	0.0
	コンパクトなまちづくり	4.6	9.8	5.2	5.9	1.4	4.3	3.4	1.3	5.4	2.7	0.0
行政運営・参画協働	地域公共交通の充実	13.4	7.5	12.2	15.3	19.2	11.9	13.8	15.8	10.8	29.7	14.8
	市民参画・市民協働の促進	1.4	3.0	0.0	2.4	1.4	1.0	0.9	1.3	1.4	0.0	3.7
	スマート自治体の実現	2.8	3.8	0.9	3.5	2.7	1.9	4.3	0.0	4.1	8.1	3.7
	DX推進	2.0	1.5	0.0	2.4	5.5	1.9	2.6	1.3	4.1	0.0	0.0
	行財政改革	2.4	1.5	3.5	5.9	1.4	1.9	1.7	2.6	1.4	5.4	0.0
その他	3.8	3.0	5.2	3.5	4.1	3.3	6.0	3.9	0.0	2.7	7.4	
	(回答人数)	948	133	115	85	73	210	116	76	74	37	27

<市街地・市街地以外の比較>

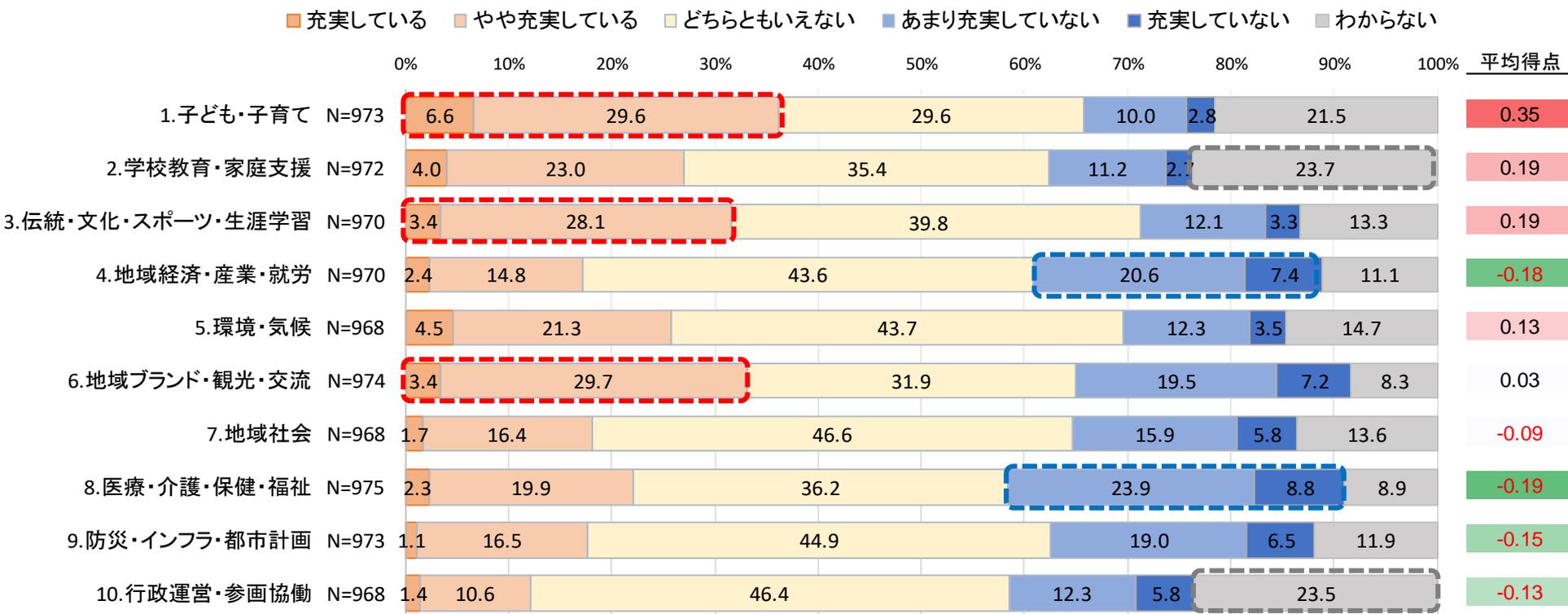
■1番目～5番目に大事なキーワードの合計

※割合は回答人数ベース
 ※市街地＝大門、高出、広丘、吉田の4地区とした
 ※赤字は「市街地」「市街地以外」の差が5ポイント以上あるもの

		全体	市街地	市街地以外
子ども・子育て	少子化対策	34.7	32.4	38.1
	産む環境の整備	27.5	27.6	27.6
	保育人材の確保	11.2	12.9	9.0
	相談・支援体制の整備	10.5	13.6	6.5
学校教育・家庭支援	特色ある教育	10.1	10.8	9.2
	不登校対策	7.8	7.2	8.7
	発達・特別支援の対応	6.3	6.6	6.0
	インクルーシブ教育の推進	2.6	3.3	1.7
	子どもの貧困対策	13.2	13.2	12.9
	デジタル技術の活用	8.4	9.2	7.2
伝統・文化・スポーツ	文化・歴史・文化財の継承	6.8	5.9	8.0
	スポーツの振興	5.2	6.4	3.5
生涯学習	課題解決型図書館、	0.0	1.1	1.2
	生涯学習・継続的な学び	3.5	4.4	2.2
地域経済・産業・就労	雇用対策・Uターン就職促進	23.9	24.6	23.1
	地域内循環・エコシステムの促進	2.4	2.9	1.7
	農林業の振興	15.9	11.9	21.4
	商業・サービス業の振興	13.0	14.5	10.9
	工業、企業誘致の推進	12.1	12.5	11.7
	稼ぐ力の向上、労働生産性の向上、高付加価値化	8.9	8.6	9.0
	AIロボット化	2.5	2.9	2.0
環境・気候	気候変動への対応	8.1	7.0	9.7
	脱炭素(カーボンニュートラル)の推進	3.0	2.4	3.7
	グリーン成長戦略への対応	0.7	0.9	0.5
地域ブランド・観光・交流	再生可能エネルギーの導入	5.6	5.5	5.7
	シビックプライド、市への愛着の醸成	3.0	2.9	3.0
	塩尻地域ブランドの確立	10.3	11.4	9.0
	ワイン・漆器など地場産業の振興	7.6	7.2	8.2
	観光資源の磨き上げ	5.6	5.3	6.0
稼げる観光地づくり	11.9	10.7	13.7	
塩尻ファンや関係人口の獲得	4.9	4.2	5.7	

		全体	市街地	市街地以外
地域社会	自治会組織の見直し	14.3	12.9	16.2
	住民同士の支え合い	7.9	8.1	7.7
	自助・互助・共助・公助の整理	2.8	2.0	4.0
医療・介護・保健・福祉	医療体制の充実	31.8	31.8	31.6
	医療・介護人材の確保	24.8	24.4	25.4
	介護予防・健康寿命の延伸	10.2	10.8	9.5
	障がい者の社会参加促進	4.3	4.8	3.7
	複合的な地域福祉課題への対応	5.9	5.3	6.7
	ダイバーシティ・共生社会の実現	2.1	1.8	2.5
防災・インフラ・都市計画	地域防災体制・意識の強化	8.0	7.5	8.7
	自然災害や感染症リスクへの備え	9.9	9.2	10.9
	公共施設の計画的な維持管理	5.4	5.7	5.0
	コンパクトなまちづくり	4.6	5.7	3.2
	地域公共交通の充実	13.4	11.8	15.7
行政運営・参画協働	市民参画・市民協働の促進	1.4	1.7	1.0
	スマート自治体の実現	2.8	3.1	2.5
	DX推進	2.0	2.0	2.0
	行財政改革	2.4	2.4	2.5
その他	その他	3.8	3.9	3.7
	(回答人数)	948	544	402

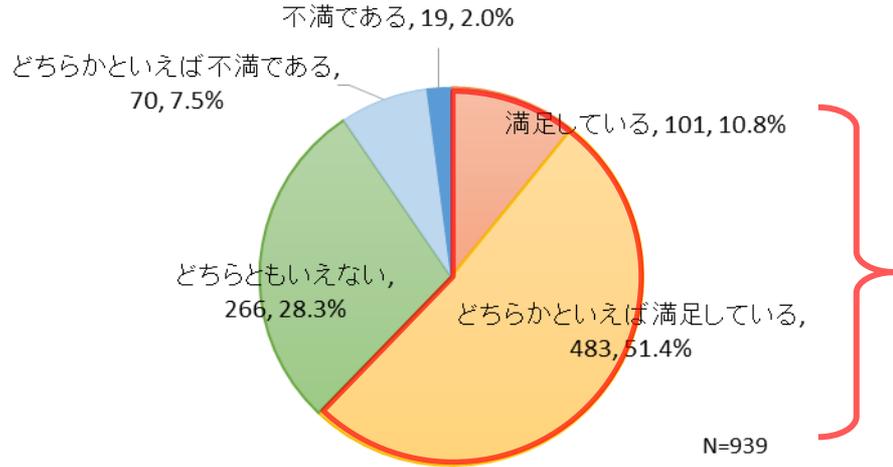
④まちづくり分野別の充実度評価



※平均得点:わからないを除き、充実している=2点、やや充実している=1点、どちらともいえない=0点、あまり充実していない=-1点、充実していない=-2点として得点化し、平均値を算出

- 各分野の充実度(充実している+やや充実している)は「子ども・子育て」「地域ブランド・観光・交流」「伝統・文化・スポーツ・生涯学習」の順で高い。
- 逆に、投資分野として多くの人が重要としている「医療・介護・保健・福祉」「地域経済・産業・就労」で低評価が多くなっている。
- 「学校教育・家庭支援」「行政運営・参画協働」「子ども・子育て」分野は2割以上の市民がわからないと答えており、市の取組が見えていない可能性がある。
- 「わからない」という回答を除き、平均得点を算出すると、「子ども・子育て」が0.35で最も高く、「医療・介護・保健・福祉」が-0.19で最も低い結果となった。

⑤塩尻市の暮らし満足度

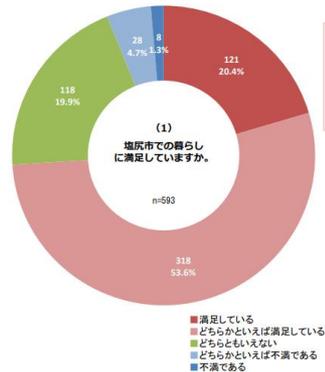


暮らし満足度
62.2%

- 暮らしの満足度は第5次の調査時より5ポイント以上、減少している。
- また、R3年度塩尻市市民意識調査時の暮らし満足度は74.0%であり、今回の調査結果は**通常**の意識調査よりも**厳しい満足度評価**となっている。
- 世論調査の全国結果(現在の生活に対する満足度)よりは高いが、松本市や安曇野市の生活満足度よりも低い水準であった。

<経年比較>

R3年度市民意識調査



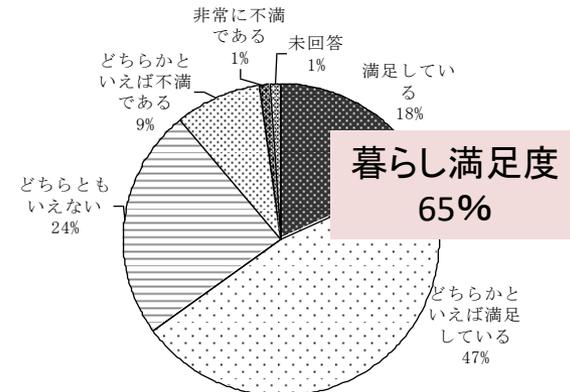
暮らし満足度
74.0%

第5次(H25)

暮らし満足度
71.3%

満足度	度数(人)	割合(%)
満足	86	18.8
どちらかといえば満足	240	52.5
どちらともいえない	94	20.6
どちらかといえば不満	30	6.6
不満	6	1.3
無効回答	1	0.2
合計	457	100.0

第4次(H15)

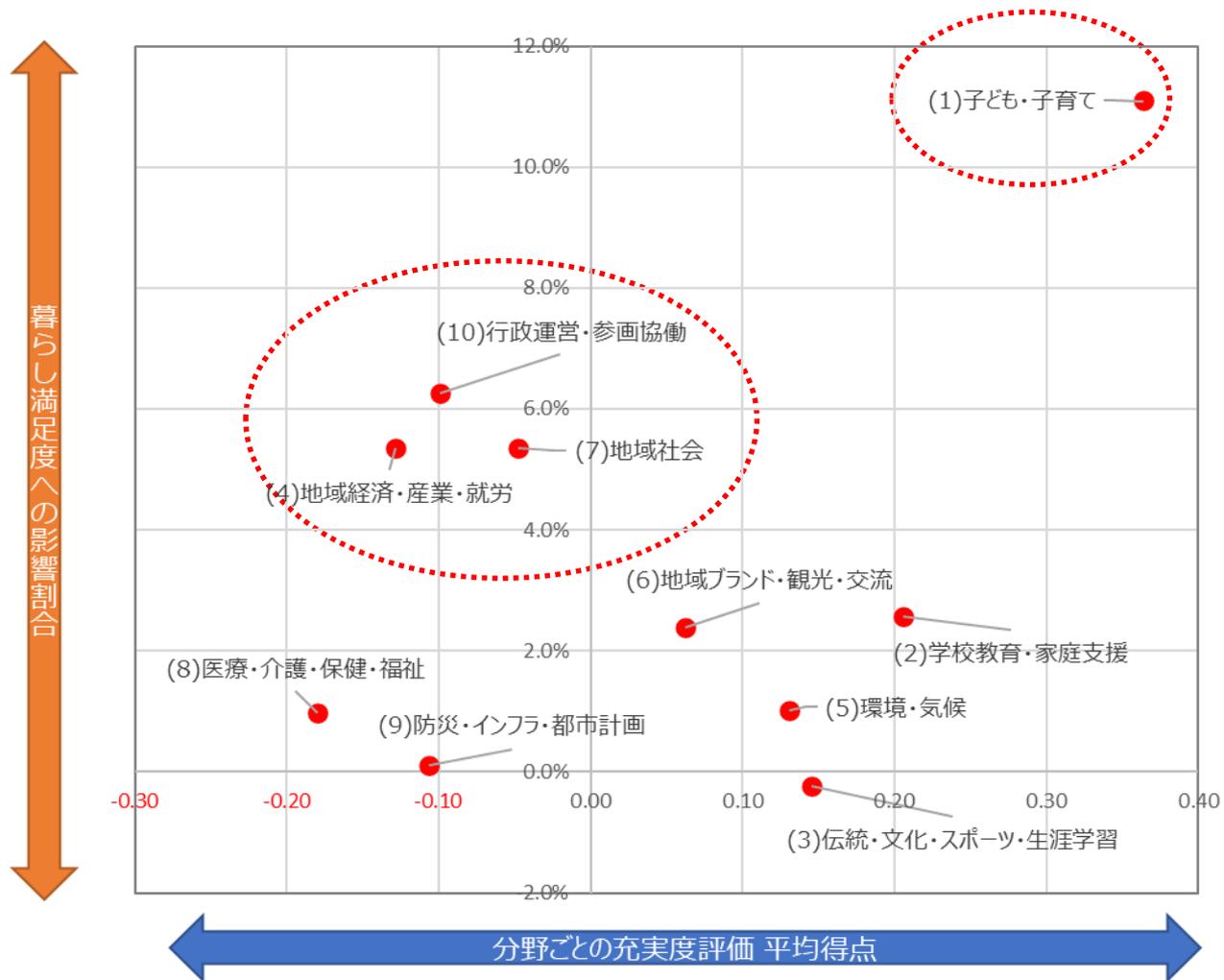


<他地域比較>

※いずれも生活満足度

- ・全国(世論調査R3年9月) 55.3%(満足+まあ満足)
- ・松本市(R3年度市民意識調査) 72.9%(満足+まあ満足)
- ・安曇野市(R2年度市民意識調査) 75.6%(とても満足+どちらかといえば満足)

⑥暮らし満足度に対する分野別の影響度



- 暮らしの満足度に対するまちづくり分野ごとの充実度評価の影響度合いをみるために重回帰分析を行った結果が左図である。
- 横軸は各分野の充実度の平均得点、縦軸は暮らし満足度への影響度(寄与率)を示している。
- **暮らし満足度に大きな影響を与えると考えられるのが、「子ども・子育て」「行政運営・参画協働」「地域経済・産業就労」「地域社会」の4分野の充実度であった。**
- 中でも「子ども・子育て」分野は、**現状の充実度評価が最も高く、暮らし満足度に大きな影響を与える重要な政策分野**であると言える。

※充実度は、充実している=2点、やや充実している=1点、どちらともいえない=0点、あまり充実していない=-1点、充実していない=-2点として得点化

※満足度は、満足している=2点、どちらかといえば満足している=1点、どちらともいえない=0点、どちらかといえば不満である=-1点、不満である=-2点として得点化

※1分野でも欠損値、わからないがあるケースは除外したため、まちづくり分野別の充実度評価全体の平均得点とは一致しない

「まちづくりの分野別充実度」と「塩尻市での暮らし満足度」の重回帰分析結果

	変数名	記述統計		相関		標準化係数 β	t値	有意確率 (p値)	共線性の統計量		寄与率 ($r \times \beta$)
		平均得点	データ数	r	有意確率				許容度	VIF	
独立変数	(1)子ども・子育ての充実度	0.36	544	0.46	0.00	0.24	4.95	0.00	0.51	1.98	11.10%
	(2)学校教育・家庭支援の充実度	0.21	544	0.40	0.00	0.06	1.28	0.20	0.50	2.00	2.56%
	(3)伝統・文化・スポーツ・生涯学習の充実度	0.15	544	0.32	0.00	-0.01	-0.17	0.86	0.67	1.50	-0.23%
	(4)地域経済・産業・就労の充実度	-0.13	544	0.42	0.00	0.13	2.75	0.01	0.57	1.75	5.36%
	(5)環境・気候の充実度	0.13	544	0.31	0.00	0.03	0.80	0.42	0.72	1.39	1.02%
	(6)地域ブランド・観光・交流の充実度	0.06	544	0.35	0.00	0.07	1.61	0.11	0.66	1.51	2.38%
	(7)地域社会の充実度	-0.05	544	0.42	0.00	0.13	2.65	0.01	0.54	1.86	5.35%
	(8)医療・介護・保健・福祉の充実度	-0.18	544	0.35	0.00	0.03	0.62	0.54	0.61	1.64	0.97%
	(9)防災・インフラ・都市計画の充実度	-0.11	544	0.35	0.00	0.00	0.06	0.95	0.49	2.05	0.11%
	(10)行政運営・参画協働の充実度	-0.10	544	0.44	0.00	0.14	2.67	0.01	0.43	2.33	6.26%
従属変数	塩尻市での暮らしの満足度	0.67	544	1.00	-						
R2乗											34.89%

※充実度は充実している=2点、やや充実している=1点、どちらともいえない=0点、あまり充実していない=-1点、充実していない=-2点として得点化

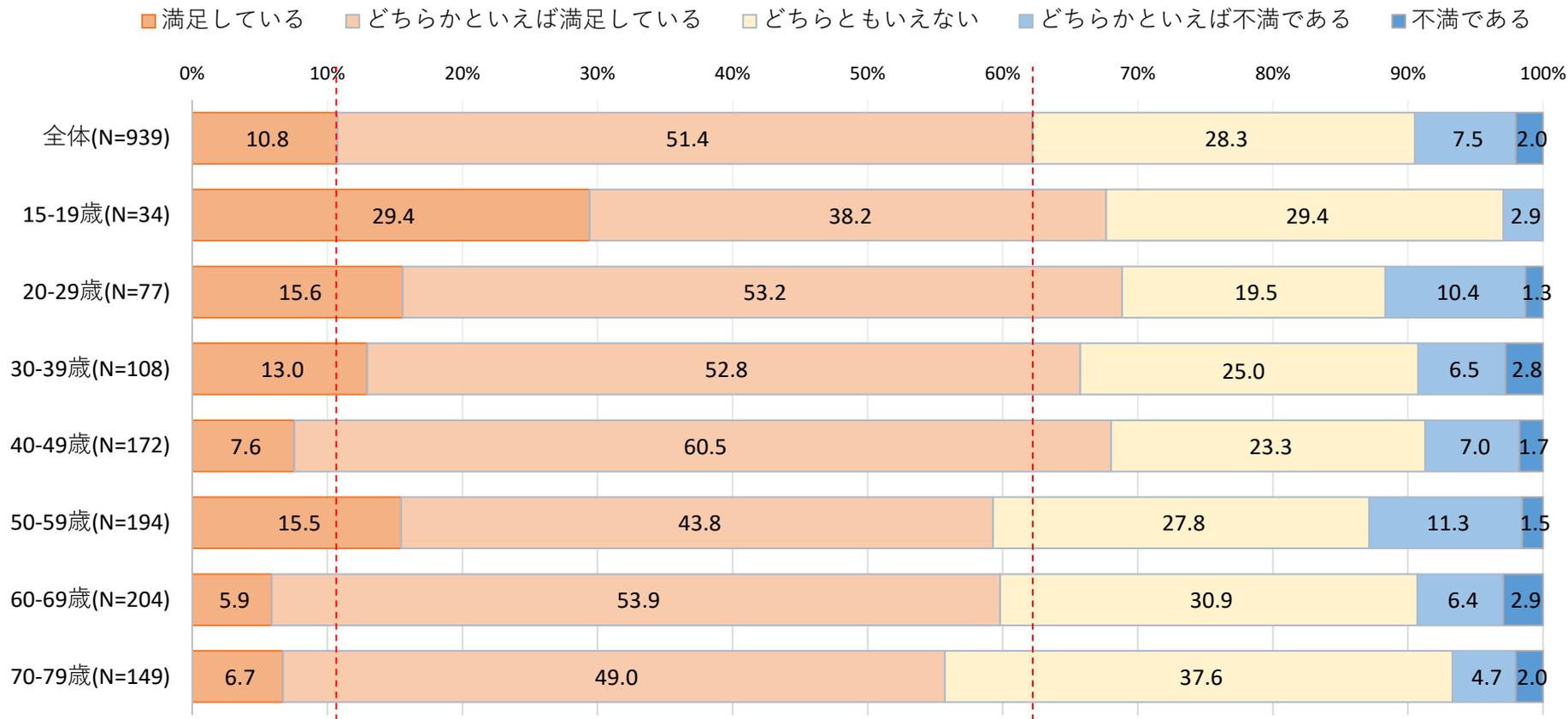
※満足度は満足している=2点、どちらかといえば満足している=1点、どちらともいえない=0点、どちらかといえば不満である=-1点、不満である=-2点として得点化

※1分野でも欠損値、わからないがあるケースは除外したため、まちづくり分野別の充実度評価全体の平均得点とは一致しない

※p値が0.05未満を統計的に有意とみなす

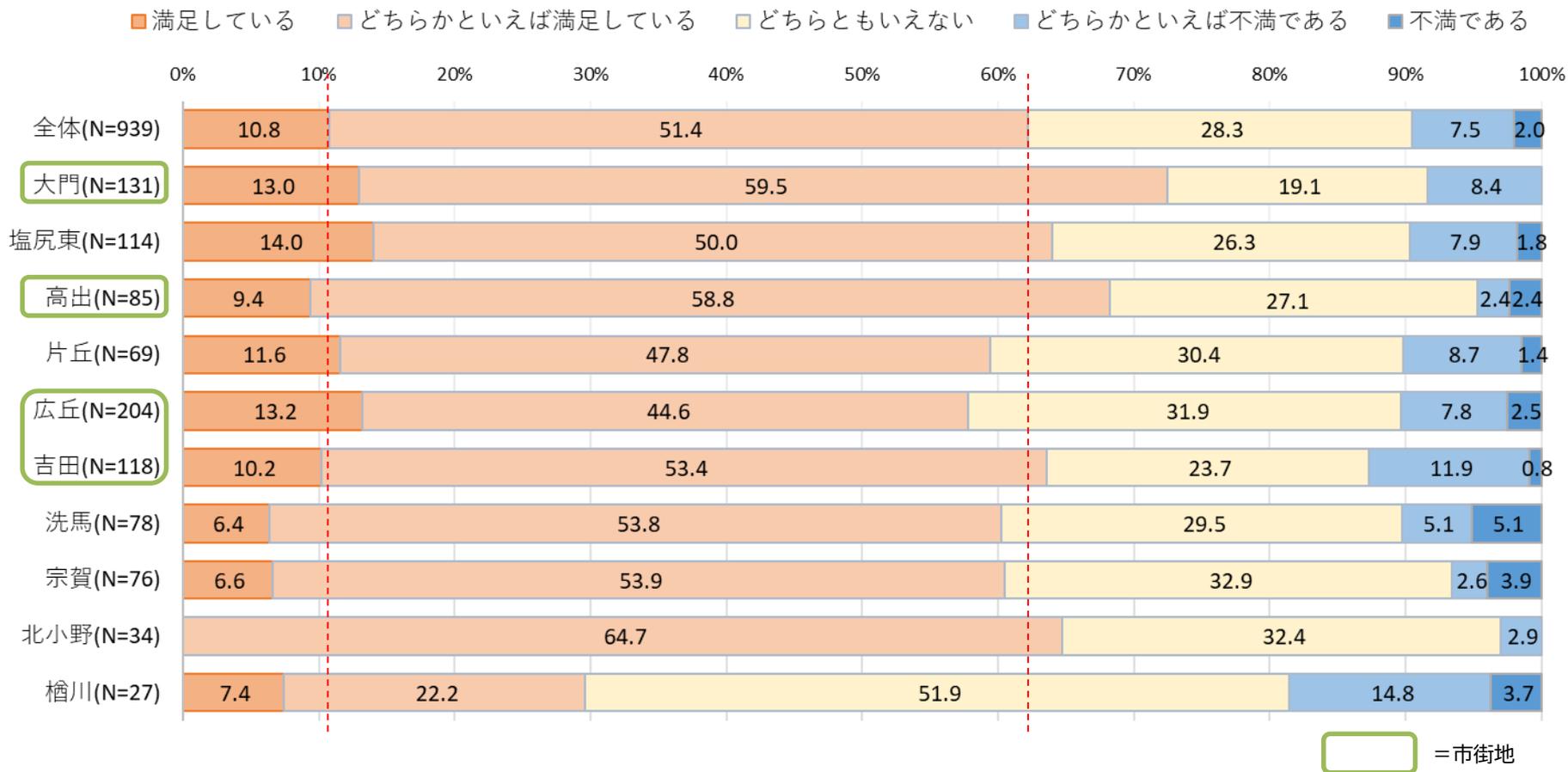
⑦暮らし満足度に対するクロス分析

<年代別の比較>



- 年代別には15～19歳の「満足している」が約3割で他の年代に比べ最も高い。総じて若い層で暮らしの満足度が高くなっている。
- 50代では「満足している」が全体よりも高いと同時に、不満層がどの世代よりも多くなっている。
- 60歳以上の層で、全体よりも満足度が低くなっており、高齢者の満足度の向上が課題といえる。

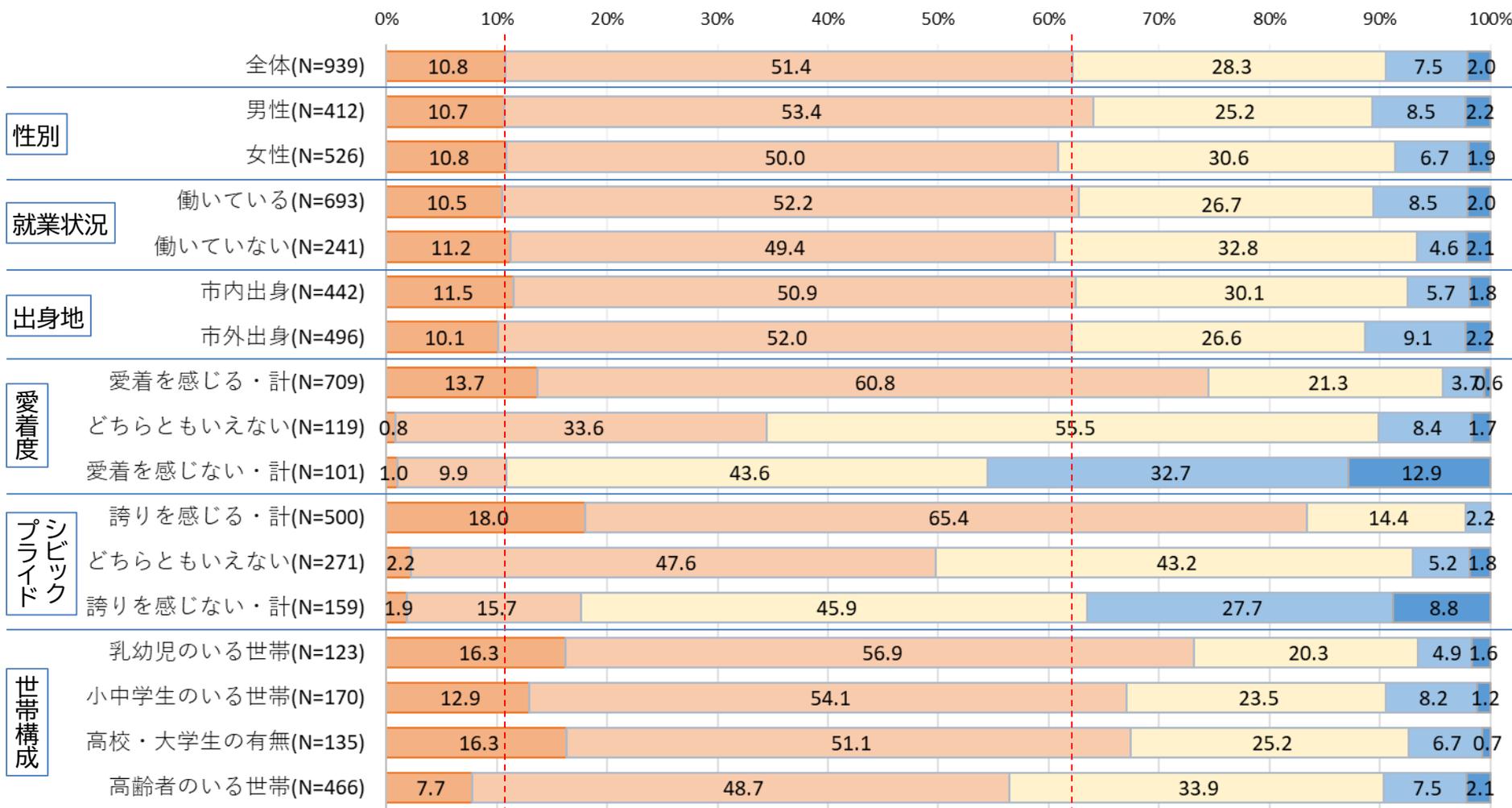
<地域別の比較>



- 地区別にみると、大門地区、高出地区など市街地で総じて暮らし満足度が高い。ただし、吉田地区は不満回答が1割以上となっている。
- 市街地以外の地区のうち、特に檜川地区で「どちらともいえない」が過半数となっており、不満という回答も2割近い。

<その他の層別の比較>

■ 満足している
 ■ どちらかといえば満足している
 ■ どちらともいえない
 ■ どちらかといえば不満である
 ■ 不満である



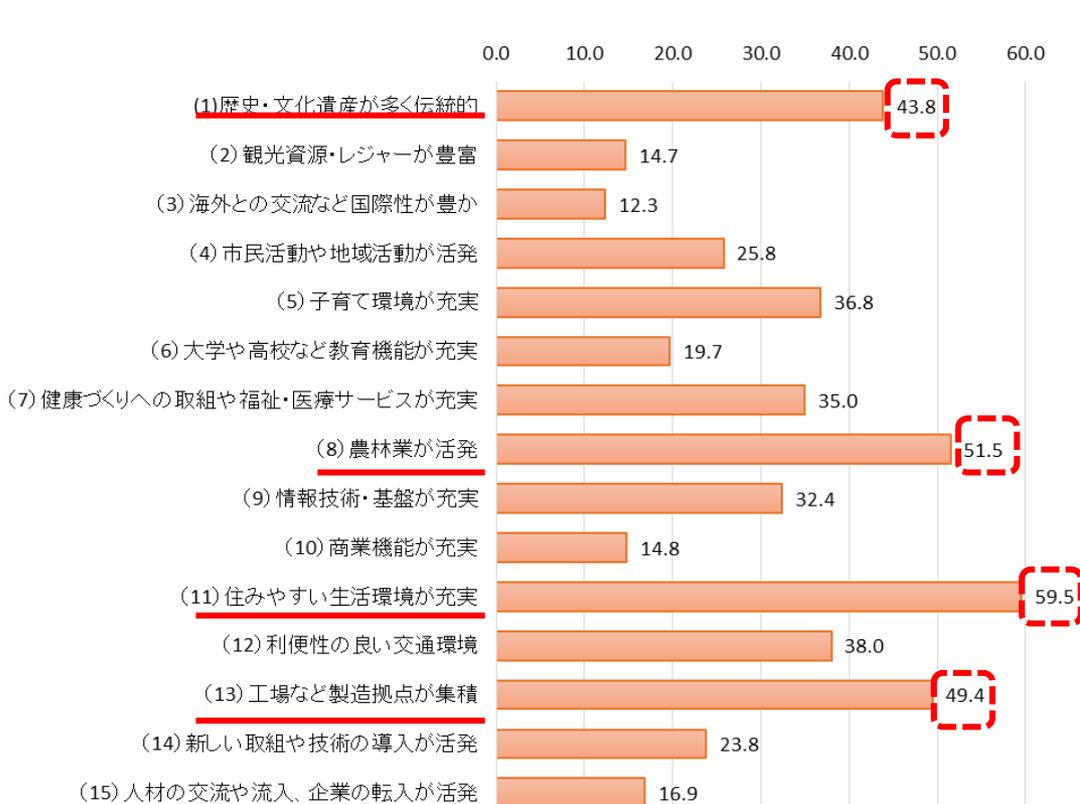
- 性別や就業状況、出身地別では差はみられない。愛着およびシビックプライドを感じていない層で、不満という割合がかなり高くなっている。
- 世帯構成でみると、乳幼児のいる世帯の満足度が最も高い。

(3) 塩尻市の魅力と特徴～ブランドイメージ

① まちのイメージ(塩尻市)

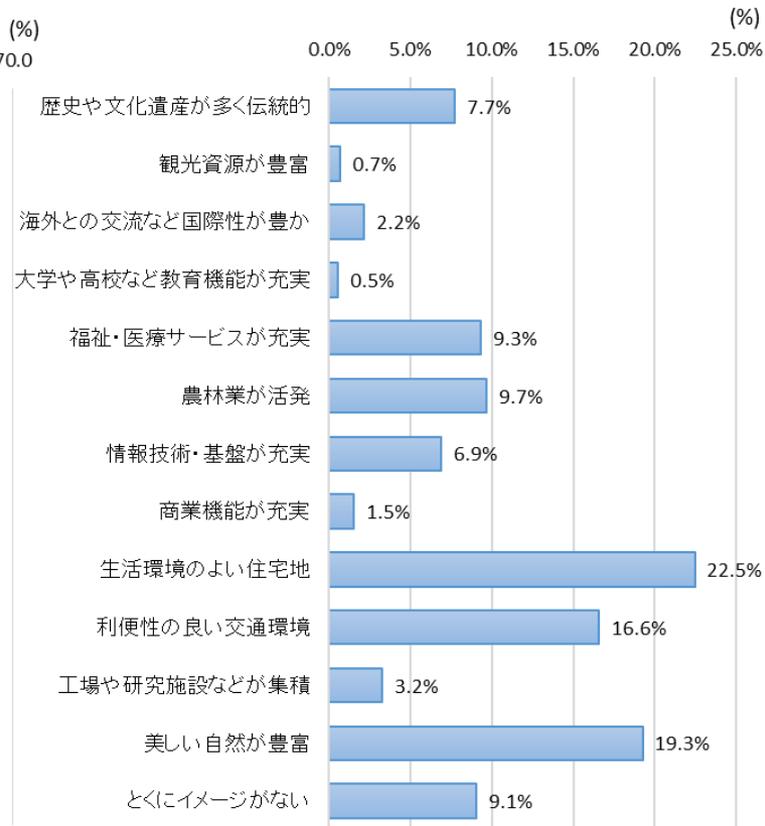
▶ 生活環境、農林業、製造拠点が集積、歴史・文化遺産が4割を超え、塩尻市のイメージの上位となっている。

今回調査の塩尻イメージ(あてはまる+ややあてはまるの合計値)



【注】上記の全15項目について、4地域(塩尻市、松本市、安曇野地域、諏訪地域)それぞれどの程度あてはまるかを選択する方式。

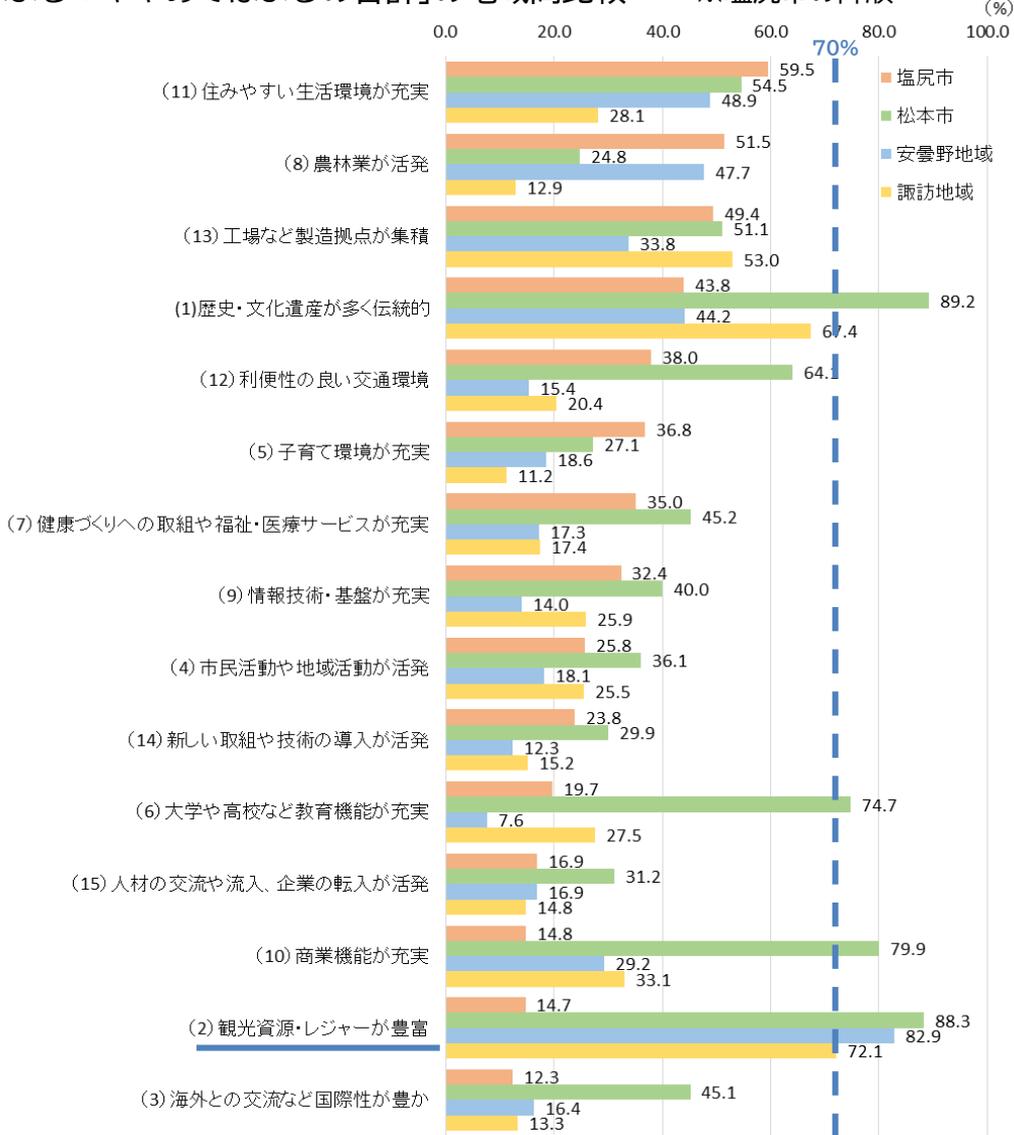
【参考】第4次総時(H15)の塩尻イメージ



【注】近隣地域と塩尻市についてどのようなイメージを強く持っているか、6地域(塩尻、松本、朝日・山形・波田、安曇野、木曾、岡谷・諏訪)それぞれ2項目まで選択する設問。今回調査と聞き方が異なるため、単純な比較はできない

■まちのイメージ(近隣地域との比較)

<「あてはまる+ややあてはまるの合計」の地域間比較> ※塩尻市の降順



▶ 塩尻市のイメージでは70%以上となるような強いイメージがない
 ▶ 観光資源・レジャーは特に他の3地域と大きく差がある

■まちのイメージ(近隣地域との比較)

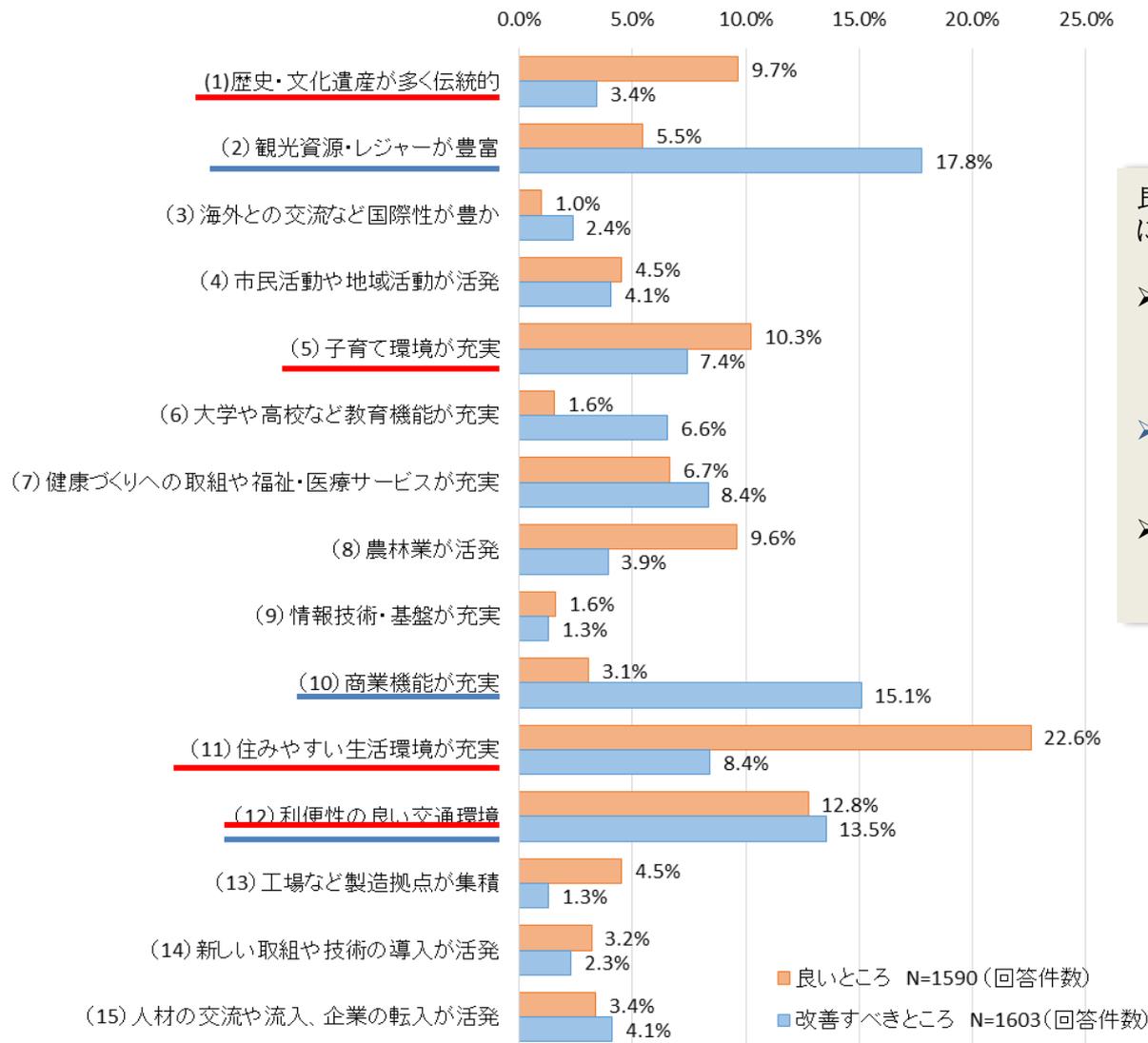
		N	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
(1)歴史・文化遺産が多く伝統的	塩尻市	974	6.6	37.3	30.2	17.9	4.3	3.8
	松本市	961	52.9	36.3	4.6	1.1	0.3	4.8
	安曇野地域	957	10.9	33.3	29.4	9.0	1.9	15.6
	諏訪地域	958	27.7	39.8	17.7	4.0	0.5	10.3
(2)観光資源・レジャーが豊富	塩尻市	973	1.3	13.4	30.4	34.8	17.9	2.2
	松本市	960	46.5	41.9	7.2	1.9	0.3	2.3
	安曇野地域	959	36.5	46.4	9.6	2.0	0.4	5.1
	諏訪地域	958	28.2	48.9	16.3	4.7	1.3	5.6
(3)海外との交流など国際性が豊か	塩尻市	976	2.0	10.2	32.1	18.8	10.7	26.2
	松本市	957	15.0	30.1	20.1	4.4	1.9	28.5
	安曇野地域	954	4.6	11.7	31.1	9.3	3.6	39.6
	諏訪地域	956	3.7	9.6	33.3	9.3	3.6	40.6
(4)市民活動や地域活動が活発	塩尻市	974	4.5	21.3	39.8	11.3	4.3	18.8
	松本市	956	10.8	25.3	25.3	3.7	0.8	34.1
	安曇野地域	955	4.6	13.5	30.1	3.9	1.0	46.9
	諏訪地域	955	8.6	17.0	25.9	3.4	0.9	44.3
(5)子育て環境が充実	塩尻市	971	7.6	29.1	28.8	11.0	2.7	20.7
	松本市	954	5.6	21.6	27.6	5.2	1.3	38.8
	安曇野地域	951	4.0	14.6	25.8	4.0	0.6	51.0
	諏訪地域	952	1.8	9.5	28.6	5.1	0.7	54.3
(6)大学や高校など教育機能が充実	塩尻市	972	2.6	17.1	31.9	23.5	12.7	12.3
	松本市	958	34.4	40.3	9.5	2.6	0.7	12.4
	安曇野地域	955	0.9	6.7	31.3	17.7	10.6	32.8
	諏訪地域	955	4.7	22.8	28.8	9.6	4.8	29.2
(7)健康づくりへの取組や福祉・医療サービスが充実	塩尻市	974	5.3	29.7	35.5	11.8	3.9	13.8
	松本市	958	13.6	31.6	21.5	2.0	0.9	30.4
	安曇野地域	956	3.6	13.7	27.9	3.1	1.2	50.5
	諏訪地域	956	3.6	13.8	27.7	3.0	1.2	50.7
(8)農林業が活発	塩尻市	971	13.3	38.2	20.2	6.8	2.0	19.6
	松本市	952	5.8	19.0	30.8	8.9	2.4	33.1
	安曇野地域	951	15.7	32.1	17.0	2.4	0.8	32.0
	諏訪地域	950	2.8	10.1	32.9	7.6	2.4	44.1

		N	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
(9)情報技術・基盤が充実	塩尻市	970	6.8	25.6	30.0	8.2	3.1	26.3
	松本市	955	11.0	29.0	22.3	2.4	1.7	33.6
	安曇野地域	952	2.0	12.0	29.9	6.4	2.4	47.3
	諏訪地域	952	8.5	17.4	23.3	4.4	1.8	44.5
(10)商業機能が充実	塩尻市	971	2.1	12.8	30.5	31.4	15.0	8.2
	松本市	957	44.4	35.5	9.5	1.3	0.6	8.7
	安曇野地域	954	6.6	22.6	31.0	13.0	4.3	22.4
	諏訪地域	953	7.8	25.3	31.0	10.1	3.9	22.0
(11)住みやすい生活環境が充実	塩尻市	973	13.6	45.9	25.8	7.6	2.9	4.2
	松本市	957	14.3	40.2	24.5	3.8	1.3	16.0
	安曇野地域	953	13.5	35.4	20.1	2.4	0.6	27.9
	諏訪地域	954	6.5	21.6	30.6	6.6	1.4	33.3
(12)利便性の良い交通環境	塩尻市	974	11.3	26.7	27.8	19.0	11.4	3.8
	松本市	957	24.0	40.0	18.7	5.5	3.8	7.9
	安曇野地域	954	2.8	12.6	30.8	18.7	7.8	27.4
	諏訪地域	954	4.9	15.5	33.4	12.4	5.8	28.0
(13)工場など製造拠点が集積	塩尻市	971	11.4	38.0	29.0	8.3	2.2	11.0
	松本市	955	16.4	34.7	25.2	4.5	0.8	18.3
	安曇野地域	948	7.6	26.2	27.8	6.1	1.8	30.5
	諏訪地域	951	17.8	35.2	20.0	2.2	0.6	24.2
(14)新しい取組や技術の導入が活発	塩尻市	972	6.0	17.8	29.2	9.4	5.1	32.5
	松本市	955	7.3	22.6	24.6	3.2	1.9	40.3
	安曇野地域	951	2.4	9.9	28.2	5.2	2.9	51.4
	諏訪地域	951	3.8	11.5	26.3	4.4	2.6	51.4
(15)人材の交流や流入、企業の転入が活発	塩尻市	972	3.2	13.7	32.5	13.5	7.4	29.7
	松本市	955	9.6	21.6	25.2	4.0	1.7	37.9
	安曇野地域	951	4.0	12.9	27.0	5.9	2.7	47.4
	諏訪地域	952	3.8	11.0	27.2	6.2	3.0	48.7

- 塩尻市のイメージで「あてはまる」と回答している項目はきわめて少なく、**特定の強いイメージがない結果**となっている。
- 逆に「あてはまらない」は**(2)観光・レジャー、(10)商業機能が15%を超え、他地域よりも高くなっている。**
- 総じて、「わからない」の割合は他地域の方が高いが、(14)新しい取組や技術導入が活発、(15)人材交流・企業転入、(9)情報技術・基盤、(3)国際交流については、塩尻市もわからないの割合が高くなっている。

②塩尻市の「よいところ」「改善すべきところ」

<良いところ・改善すべきところのイメージ項目> (各3つまで)

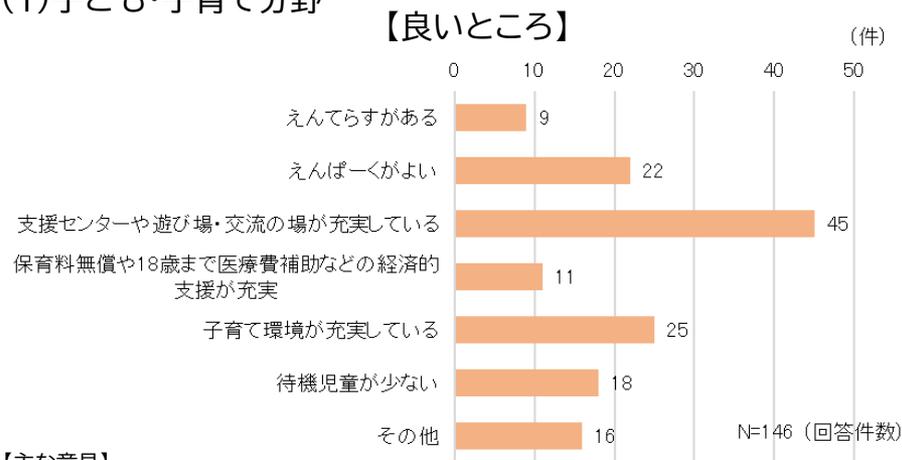


良いところ・改善すべきところを具体的に挙げたイメージ項目の量をみたもの

- 良いところとして最も多くあげられたのは「住みやすい生活環境」、次いで「交通環境」「子育て環境」「歴史・文化遺産」「農林業」の順。
- 改善すべきところは、「観光・レジャー」「商業機能」「交通環境」が多くあげられている。
- 「交通環境」は良いところとして評価する声もあるが、改善すべきところとしてもあげられている。

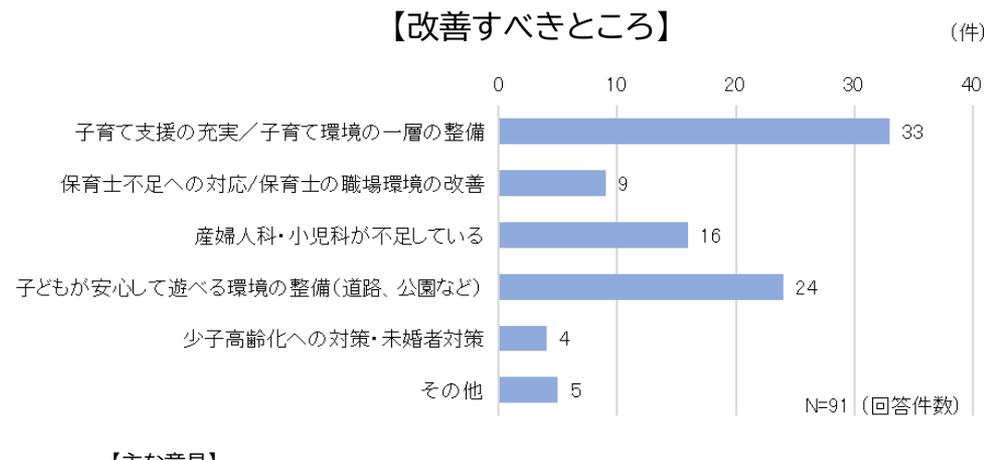
③塩尻市の「よいところ」「改善すべきところ」～自由記述の整理(10分野別へ再整理)

(1)子ども・子育て分野



【主な意見】

- あんしんサポートルームや産後の保健師又は助産師訪問で相談できることがとてもありがたい(30代)
- 子育て支援センター、こども広場をはじめ、各保育園や児童館でのイベントや相談会など、未就園児の子育て支援がとにかく充実している。他市町村の方からも非常に羨ましがられる(30代)
- 赤ちゃんならえんてらすやえんぱーくなど室内で安心して遊ばせる場所もあるのは魅力(40代)
- えんぱーく、えんてらす、中央スポーツ公園、ユメックスアリーナなど子育て施設の充実さ(20代)
- 引越してきた20年前に比べると、良くなっていると思う(50代)

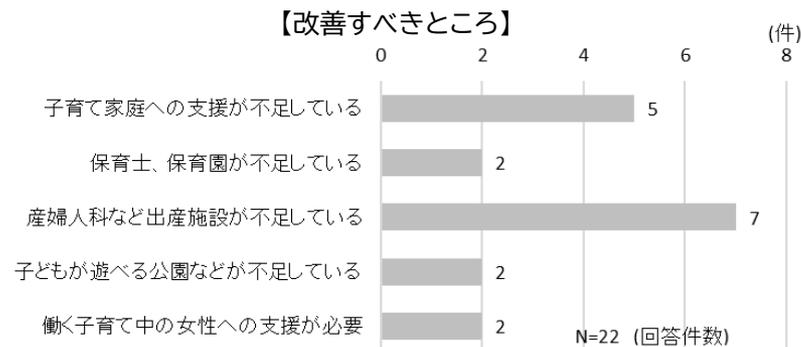
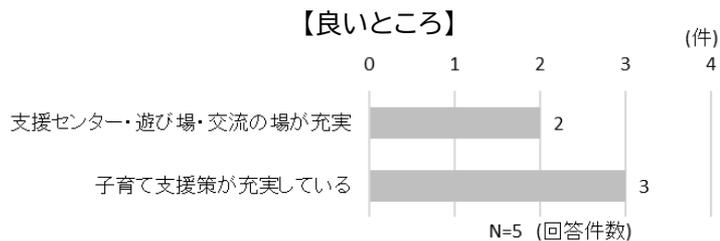


【主な意見】

- 今が悪いわけではないが、まだまだやれることがあるのではないかと(50代)
- 未就学児への支援は充実しているが就学児への支援が不十分(30代)
- 他県から移住したいと思えるような政策がほしい。友人が住んでいる神戸、明石市のよような政策がともらやましい(20代)

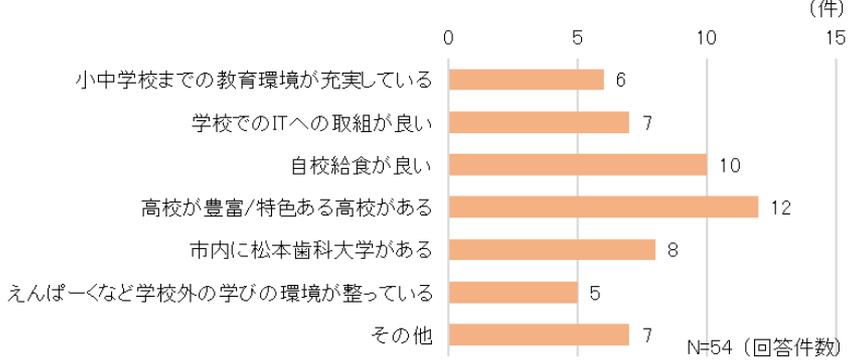
- 10年前に比べ、「えんてらす」「えんぱーく」を代表とする子育て支援施設の充実を評価する人が増えている。
- 現状の子育て支援を一定評価しつつも、さらなる充実を望む声や、安心して遊べる公園等の充実、産科・小児科の充実をあげる声が多い。

【参考】前回調査(H25)の自由意見



(2) 学校教育・家庭支援

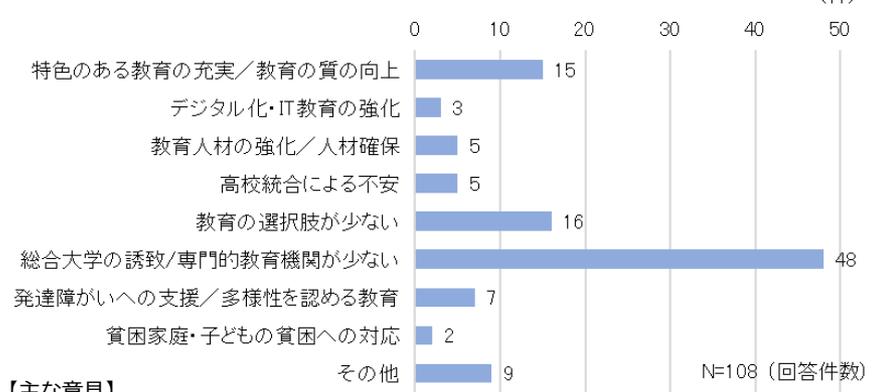
【良いところ】



【主な意見】

- 元気っ子事業、教育現場のデジタル化、支援員の増加、教育現場は他の市町村からうらやましがられるくらい充実(50代)
- 自校給食をしてくださっていてありがたいです。引っ越してきた時も、地域の方からそれが自慢だと聞きました(30代)
- 小中学校のギガスクールの取り組みはスピーディだと思う(40代)
- 高校の学科とかも普通科以外があり、いろいろな勉強が出来るところ(20代)
- えんぱーく、えんてらすは生徒たちが学習できる環境が用意されており、学力向上につながる。早寝早起き朝ごはんと読書という運動もよい(40代)

【改善すべきところ】



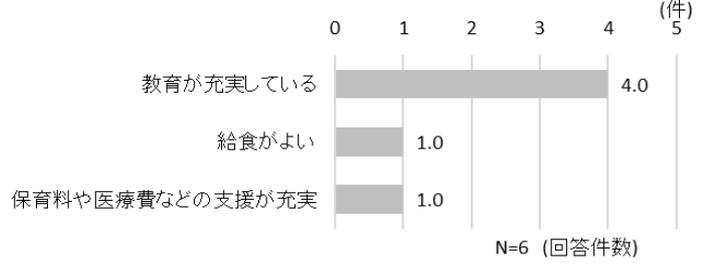
【主な意見】

- 公立の小中学校では地域によって過疎化してる所と過密化している所が分かれている。通学区域を限定せず、自由に選択できたらと思う(30代)
- より特徴的な教育で、自分の子どもを進学させたいと思える高校がほしい(30代)
- 高校再編の話が浮上したが塩尻市にとっていい話なのか不安(60代)
- 高校や大学、専門学校は松本や諏訪まで行かないといけない(30代)
- 大学が少なく、教育に関しては不十分だと思う。エスカレーター式の学校や英語のスクールなど思い切った案が実現するといい(50代)
- エプソンや富士電機、松下通信など最先端の企業があるので高校、大学にIT、デジタルの教育を企業を巻き込んで欲しい(60代)

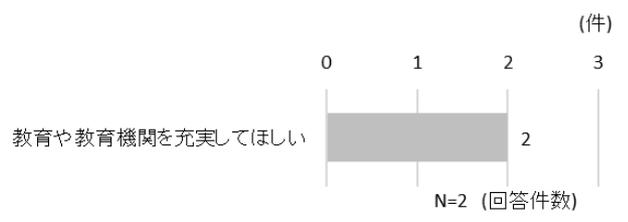
➤ 高校、給食、ICT化への評価がみられる一方、大学をはじめとする専門的な教育機関、一層の特色ある教育を求める声がみられる。

【参考】前回調査(H25)の自由意見

【良いところ】

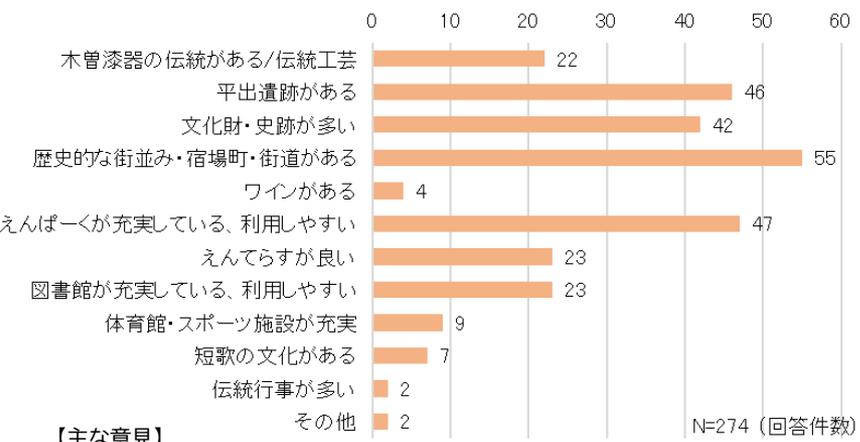


【改善すべきところ】



(3) 伝統文化・スポーツ・生涯学習

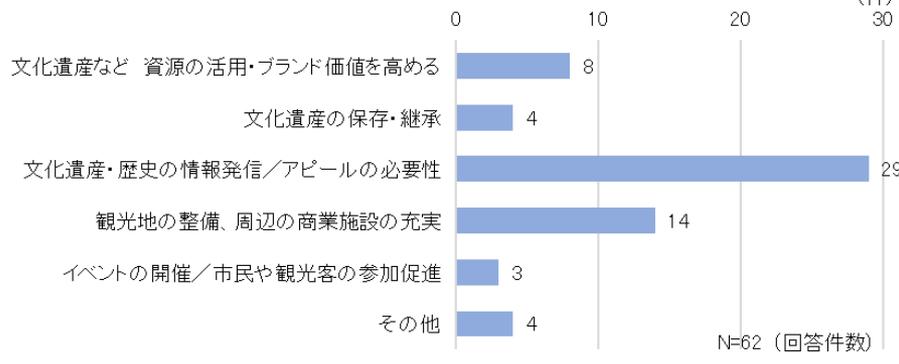
【良いところ】



【主な意見】

- 平出遺跡、奈良井宿、木曾漆器などあり、観光と伝統が両立している(30代)
- 平出遺跡や奈良井宿は世界に誇れる文化遺産だと思う(50代)
- えんぱーく、えんてらす等、県内の他地域と比較しても自慢のできるよい施設がある(40代)
- 図書館や体育館などが画期的(50代)

【改善すべきところ】



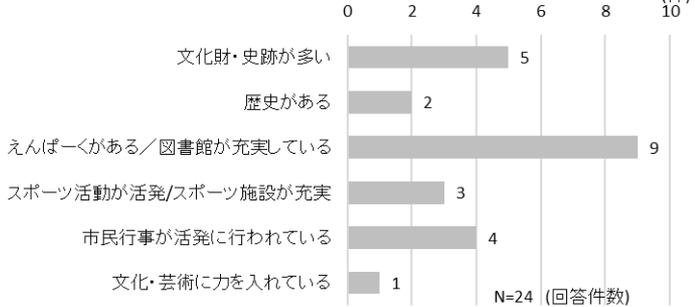
【主な意見】

- 奈良井宿や平出遺跡、郷原街道、中村宅等々、歴史あるものを保存しつつも、もっとアピールすべき(50代)
- 子どもの頃から住んでいるが、よく知らない。もっと内外にアピールすべき(30代)
- 市民がそれについて語れるだけの知識が備わっていない(50代)
- 知名度が低いし特徴がないので観光客が少ない。観光客参加型のイベントを開催したり、そこにしかない美味しい食事やスイーツなど考えて、集客する(60代)

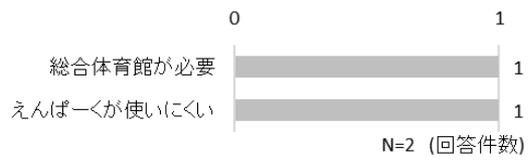
▶ 伝統文化・スポーツ・生涯学習を本市の良いところとしてあげる意見が非常に多い。改善点としては、それら豊富な資源の情報発信・アピールが多くあげられている。

【参考】前回調査(H25)の自由意見

【良いところ】



【改善すべきところ】



(4)地域経済・産業・就労

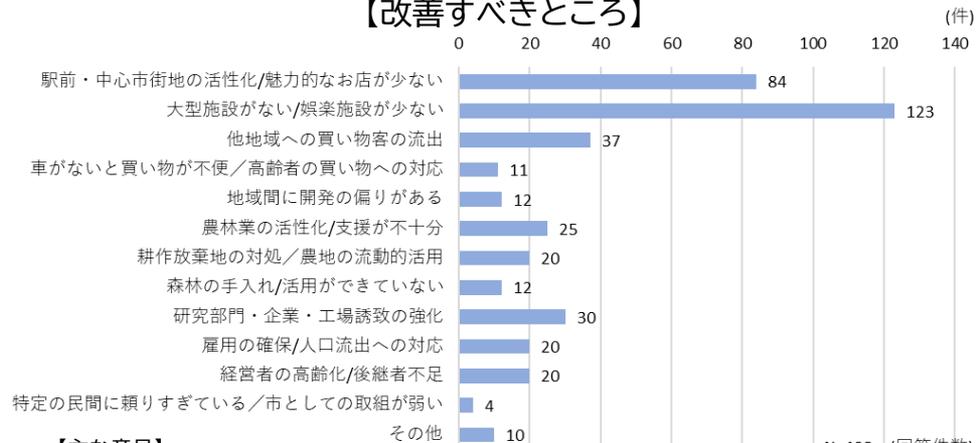
【良いところ】



【主な意見】

- 水田、畑、果樹畑と農業のバランスが良く、ある程度ブランド化されている(70代)
- レタスにぶどう、稲作、長いも、それぞれの地区にきちんとした農業が息づいている(50代)
- ぶどう生産からワイン作りとワイナリーの定着(70代)
- 利便性もよくスーパーやコンビニの他、パン屋なども多いので生活する上で助かる。薬局も至るところにあり良い(30代)
- 大企業だけでなく、中小企業の工場が集積しており、出荷額は県内でトップ(20代)
- スナバの価値が高い。創業支援につながる(60代)
- KADOでリモートワークを推進している(60代)

【改善すべきところ】



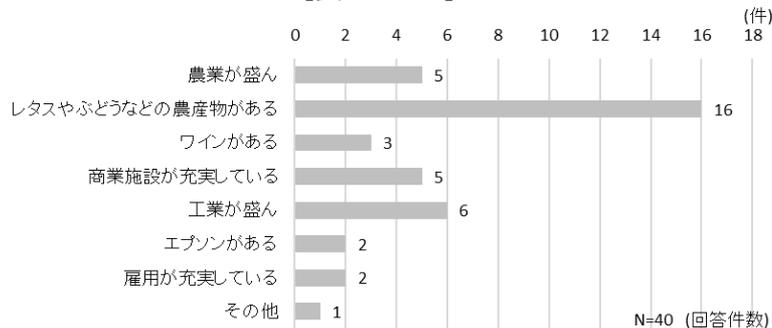
【主な意見】

- 商店街の空き店舗が目立ち、寂しい。また、小さな店・スーパーなどが無くなり、将来買い物難民が増えるのではと思う(40代)
- 高齢化で農林業の後継者不足が問題化されて久しい。食料の自給率を少しでも上げるためにも、耕作放棄地等を減らせるよう行政も一緒に考えてほしい(60代)
- リンゴ、ぶどう、レタス、アスパラ等々、体験型として観光資源に導くべき(50代)
- 地域の活性化には人材交流、企業誘致、新事業の創出支援が必要(70代)
- 食、エネルギーのみならず様々な点での地産地消に向け、地域に夢のある仕事をつくり若者の塩尻離れを防ぎたい(50代)

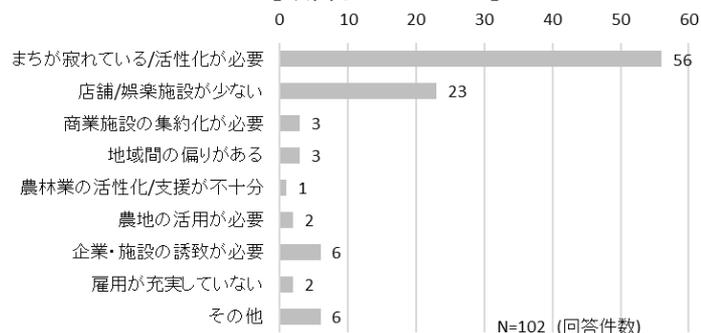
➤ この分野については、良い点も改善すべき点も多くあげられている。良い点としては、ぶどうやレタス等の農産物やワイン産業、エプソンがあることの強みが多く指摘されている。改善点としては、商業施設の誘致や駅前の活性化が最も多くあげられており、10年前と傾向は変わらない。

【参考】前回調査(H25)の自由意見

【良いところ】

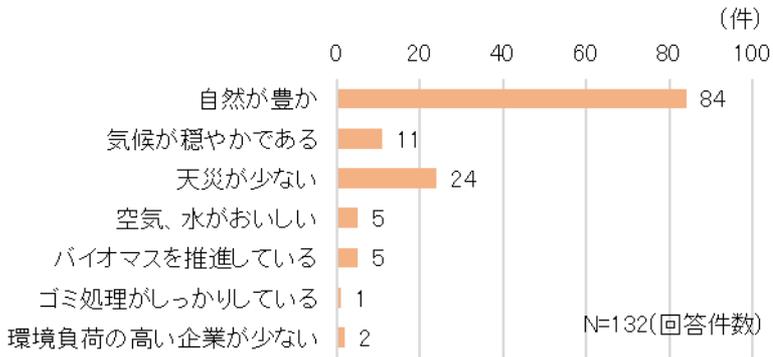


【改善すべきところ】

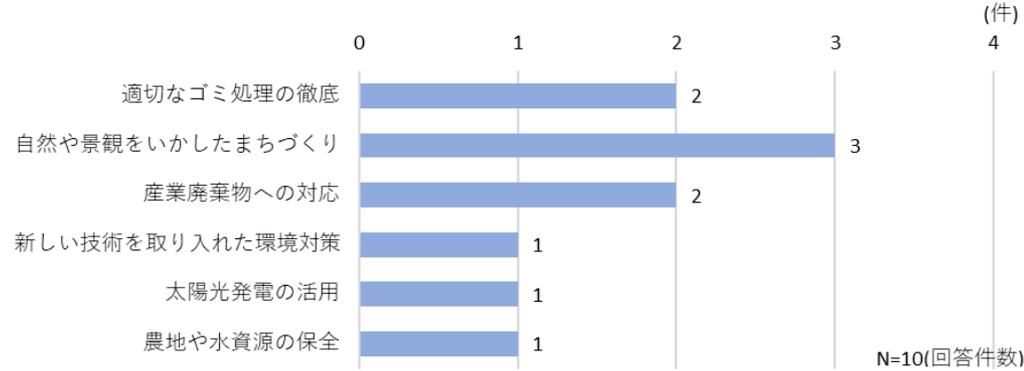


(5)環境・気候

【良いところ】



【改善すべきところ】



【主な意見】

- 自然が豊かで四季の移ろいを感じながら生活できる(60代)
- 天変地異が多くな安定している。山や緑に囲まれ自然環境が良い(70代)
- 大きな災害が少なく、比較的冷涼な気候で夏は過ごしやすい。冬は寒冷であるが降雪は多くない(20代)
- 信州FPプロジェクトのような新しい取り組みをしている(60代)
- 片丘をはじめとしたバイオマス推進が印象に残っているため。ぜひとも今後も推進してほしい(20代)

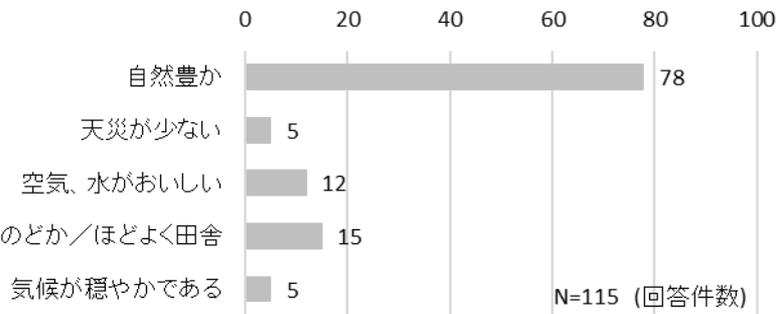
【主な意見】

- 資源物・ごみ処理の再徹底と不法投棄の未然防止の基準化(70代)
- あちこちに産業廃棄物の置き場が増えている。豊かな自然、美観のため、見回り、チェック体制に努めてほしい(60代)
- 近頃は気温も高く、畑は砂漠のようで砂嵐が名物になる(50代)
- 農地を大切に、農業を続けられる政策を望みます(60代)
- 新しい技術で環境対策に取り組み、アピールする(60代)

➤ 環境・気候分野は世界的にも今後の重要分野といえるが、10年前も今回も市民の意見は他分野に比べ関心が薄く、本市の取組も注目されていないと考えられる。多くの人が本市の自然の豊かさを良いところとしてあげているが、バイオマスの取組を指摘する声はまだ少ない。

【参考】前回調査(H25)の自由意見

【良いところ】

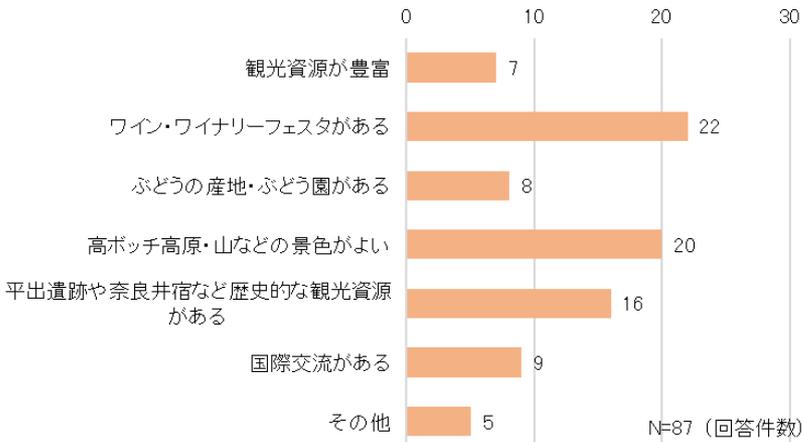


【改善すべきところ】

(意見なし)

(6)地域ブランド・観光・交流

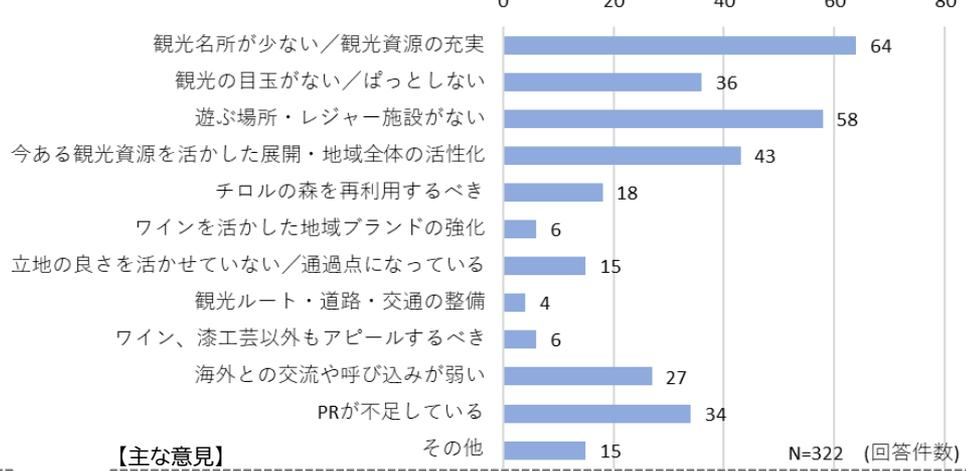
【良いところ】 (件)



【主な意見】

- ワインや木曾漆器は塩尻ブランドとして誇れる観光資源である(50代)
- ワイナリーフェスタ、ハロウィンなど市外から人が入ってくる遊びがある(50代)
- 素朴ではあるが、歴史の重みがある観光スポットがある(60代)
- 高ボッチ高原がとても景色が良く、キャンパーにも人気がある(60代)
- ミシャワカ市との友好、姉妹都市との交流があり国際的(30代)

【改善すべきところ】 (件)



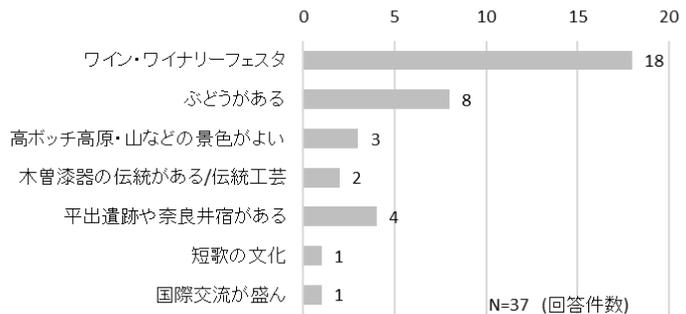
【主な意見】

- ワイン、漆工芸ともに商品に焦点が当たっている感じで、ぶどうや木材など源流まで掘り下げた取り組みをしてほしい(60代)
- 一過性でなくシーズンを通して塩尻が通過点にならぬよう観光資源のアピール(70代)
- 観光資源、レジャーが本当は豊富なのに活かしていない。柔軟に考えて活かしてほしい。市外の方からもよくいわれますが、もったいない市です(40代)

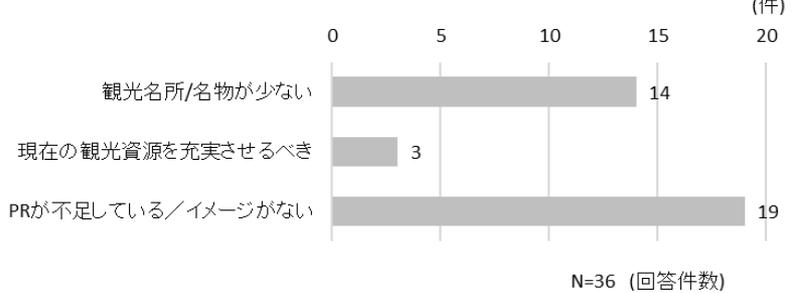
➤ この分野は改善点としての意見がきわめて多く、観光資源や施設の充実、現在ある資源や閉鎖してしまった施設等の有効活用を指摘する声が多く上げられている。一方、良いところとして、ワイナリーフェスタやぶどうだけでなく、高ボッチ高原や歴史的な観光資源にも注目する人は増えている。

【参考】前回調査(H25)の自由意見

【良いところ】 (件)

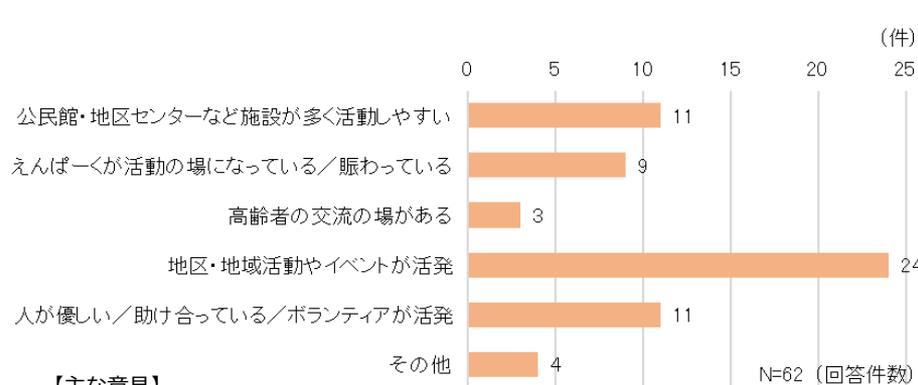


【改善すべきところ】 (件)



(7)地域社会

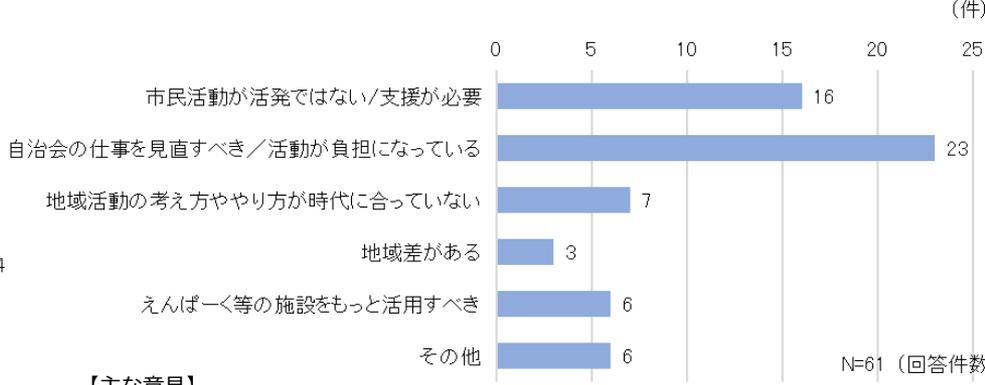
【良いところ】



【主な意見】

- 公民館や図書館などが開催しているイベント等を通して楽しむだけでなく、人々と交流しながら自然と触れ合ったり地域文化について学ぶことができる(30代)
- 公民館や自治体活動など住民が積極的に参加している。市主催のイベントも多く行われている(60代)
- 子どもの通学の見守りがしっかりされている(30代)
- 防災活動が他の市町村に比べ活発である(50代)

【改善すべきところ】



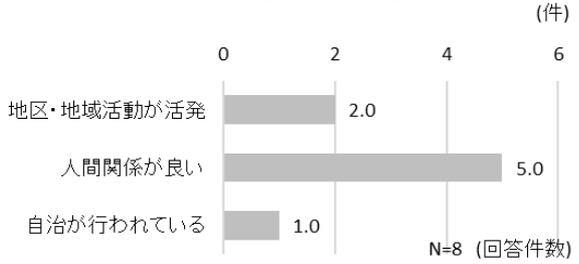
【主な意見】

- コロナ禍での移住のためかもしれないが、市民活動が少なく感じる。また何をしているか分からず参加もできない自治会の在り方を再検討するべきではないか(20代)
- 地域の役員、回覧板等は不要ではないか。時代とともに変えてほしい(60代)
- 地域活動が現在の状況に合っていない。昔のような周り全てが農家ではなく、しかも高齢化、世帯数も減少しているのに、役割はそのままで役員の負担大きい。経常費も他地域に比べて高い。地域活動を縮小して下さい(50代)
- えんぱーくをもっと多くの市民が利用したくなるような場所にする(60代)

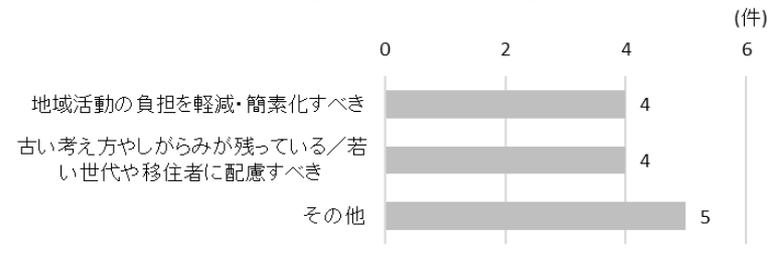
➤ 地域社会については、良い点・改善すべき点ともに意見は少なく、関心の低さが表れているといえる。
 ➤ 良い点としては、地域活動の活発さや助け合いの文化、えんぱーくや公民館などの活動拠点が指摘されている。改善点としては、区や自治会の仕事が負担となっており、活動が低迷していることや、組織・活動のあり方が時代に合っていないことを指摘する声が多くみられた。

【参考】前回調査(H25)の自由意見

【良いところ】

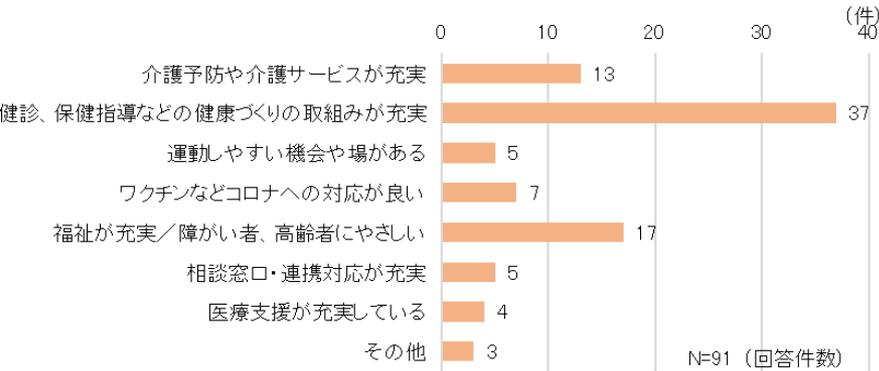


【改善すべきところ】



(8)医療・介護・保健・福祉

【良いところ】



【主な意見】

- 福祉サービス施設は他市よりも充実している(60代)
- 貯筋クラブ等健康づくりへの取組みがいろいろ充実している(60代)
- 歯科検診など大人の受診率が低いものに対してお金を出して推進できることは、健康寿命の延伸につながるはず(40代)
- それぞれの関連部署が連携しあい、スピーディに対応してくれる(60代)

【改善すべきところ】



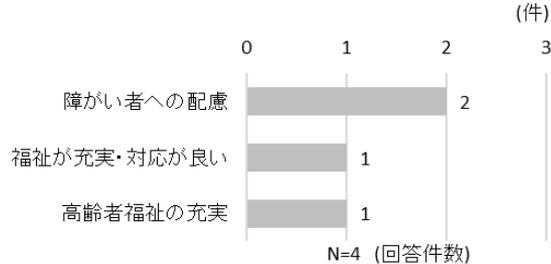
【主な意見】

- 大規模でなくとも、信頼でき活用しやすい医療機関を塩尻市中心部へ(60代)
- 高齢者に対する健康づくりは手厚いが、20～60歳くらいの方のアプローチがあまりないと思う。将来的にこの年代の健康づくりを行っていくことが医療費を抑えたり介護予防につながる(40代)
- 健康＝高齢者対策が多い。WHOが提唱しているように、身体だけでなく、心や社会的な繋がりがあらかうかも健康であるか重要なので、幅広い層へのアプローチをして欲しい(30代)

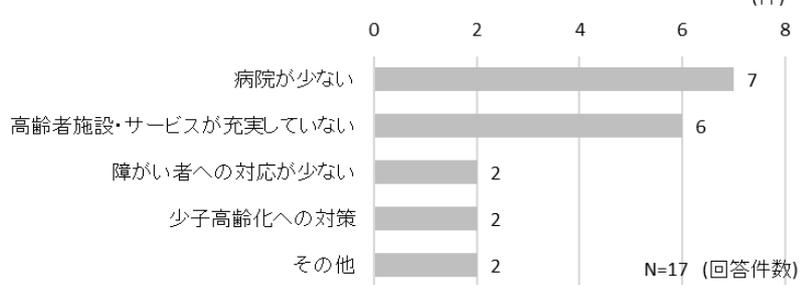
➤ 医療・介護・保健・福祉分野の中で、健康づくりの取組を高く評価する声が多く聞かれた。
 ➤ 改善点としては、総合病院や産科など医療機関の少なさが最も多く指摘され、この点は10年前と変わっていない。

【参考】前回調査(H25)の自由意見

【良いところ】

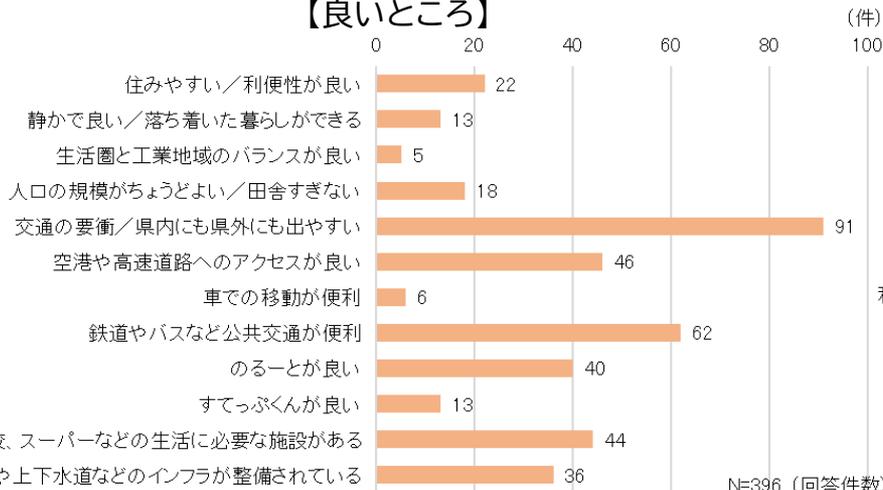


【改善すべきところ】



(9)防災・インフラ・都市計画

【良いところ】



【主な意見】

- 居住地域が商業地域や工業地域とバランスよく融合している(60代)
- 交通の要衝であり、通勤、通学に便利。駅に近く、便利に暮らせる。自然、景観にも恵まれている。地価が高すぎず、低すぎず。えんぱーくがあり街のにぎわい、お店が増えた(50代)
- 地理的に優れていると思う。関東エリア、名古屋エリアへアクセスしやすい(40代)
- のりーとなど新しい公共交通の取組がある(40代)

【改善すべきところ】



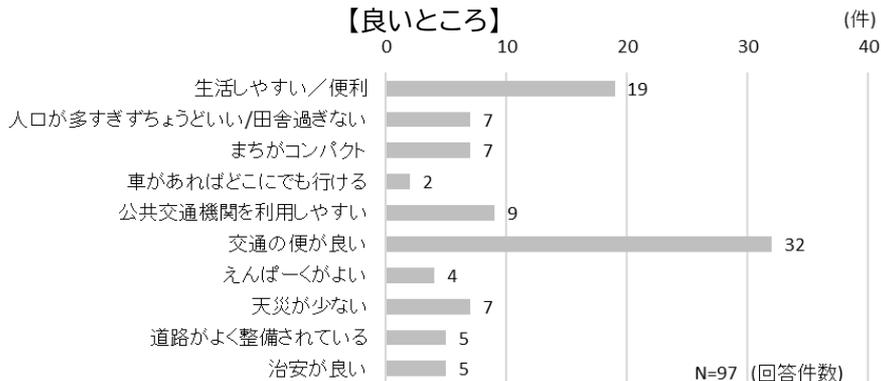
【主な意見】

- ゴミ袋が高い、処理場がないため費用がかかる(50代)
- 道が狭くすれ違いが困難な箇所が多くある。国道の渋滞は改善してほしい(40代)
- 車を持ってない人、車を運転できない人にとっても、暮らしやすい環境になってほしい(20代)
- のりーとを全域に広げてほしい(60代)
- バスの本数が少なく、バス停も遠い高齢者がいつまでも車を手放せない(50代)
- 移住してきた人が不満に思うことを素早く拾い上げる仕組みが必要。生活に慣れてしまうと、せつかくの改善点が不透明化されていく(40代)

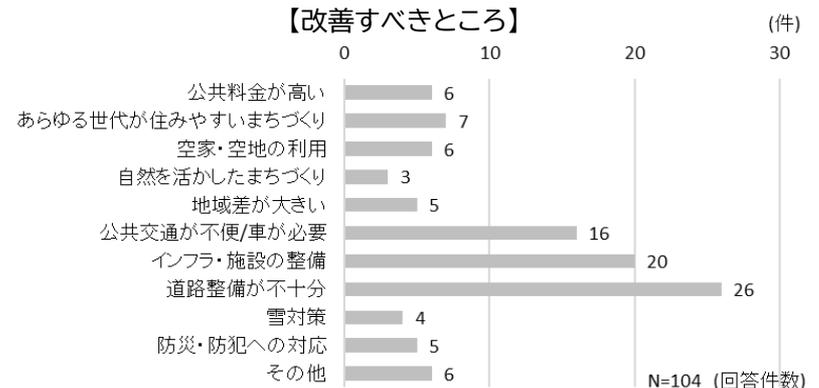
➤ この分野は良いところとして多くの意見が寄せられた。中でも、交通の便の良さや「のりーと」などの市の公共交通施策を評価する声が多い。ただし、改善すべき点としても、公共交通が最も多くあげられており、より一層の充実や地域格差の是正が求められている。

【参考】前回調査(H25)の自由意見

【良いところ】

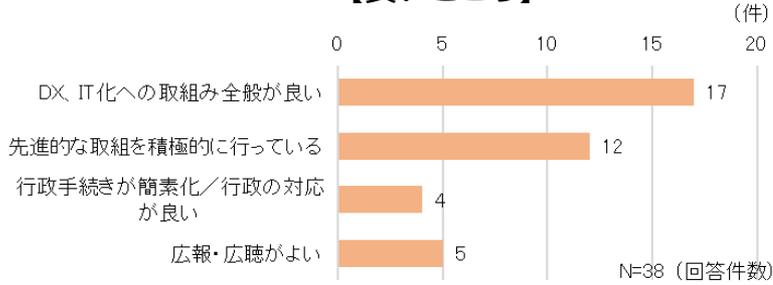


【改善すべきところ】



(10)行政運営・参画協働

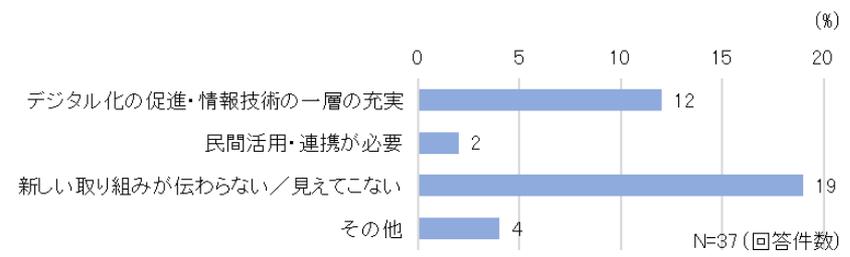
【良いところ】



【主な意見】

- ITに関するインフラ整備や人材交流には早くから取り組んで他地域をリードしてきた。県内では塩尻≒ITの認識が定着している(60代)
- 市の業務やサービスのデジタル化に取り組んでいる(40代)
- 電子図書館で読めるようになるサービス等とても良いと思う(70代)
- いろいろな面で新しい取組を迅速に行なっていると感じます(40代)
- 塩尻市振興公社の取り組みやスナバでの取り組みは評価できるから(30代)

【改善すべきところ】



【主な意見】

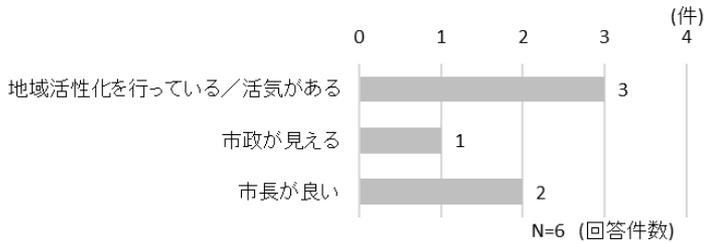
- ITへの取り組みやオンデマンドバスなど新しいことへの取組は目を引くが、レビューとフィードバックが不足している。SIPの成果検証や自動運転、スナバの明確な出口が見えない(60代)
- ICT先進行政といったイメージがあるものの、実際にはICT企業の数が多いだけなのか、それとも広報として情報提供がなされていないのか、恩恵を受けている実感があまりない(40代)
- 民間との協業や対外的アピール、支援を打ち出してほしい(20代)

➤ 行政運営・参画協働の分野のうち、参画協働についてはほとんど意見がみられない。行政運営については、DX・IT化や手続きの簡素化を評価する声がみられ、10年前にはあげられなかった意見である。

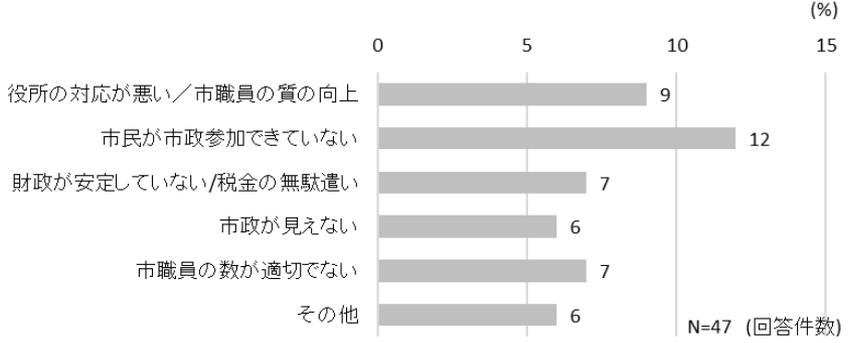
➤ 改善点としては、さまざまな新しい取組が市民に伝わらない・見えないことを指摘する人が多く、広報・広聴が重要といえる。

【参考】前回調査(H25)の自由意見

【良いところ】

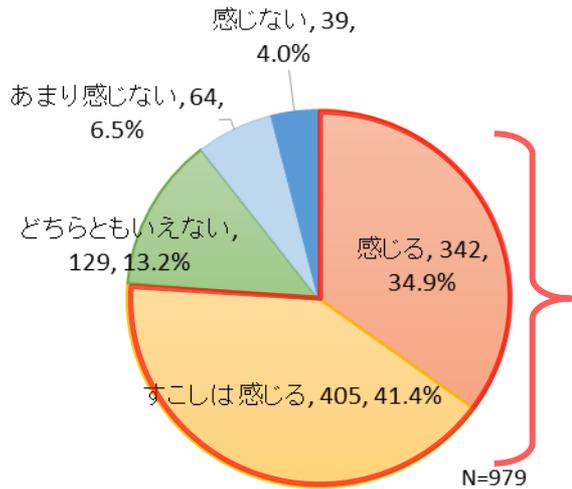


【改善すべきところ】



(4) 塩尻市民のシビックプライド

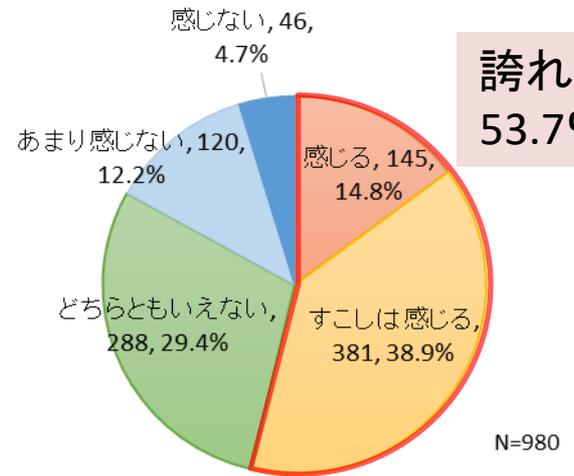
①「自分のまち」としての愛着



➤ 愛着度は第5次の調査時よりも3ポイント増加し、**76.3%**

**愛着度
76.3%**

②「他の地域の人たちに誇れるまち」と感じるか



**誇れる
53.7%**

➤ 他の地域の人たちに誇れるとする市民は53.7%で過半数にのぼっている

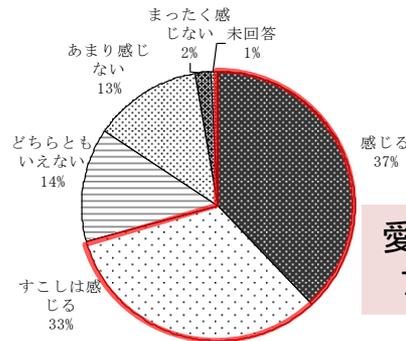
<経年比較>

第5次 (H25)

愛着	度数(人)	割合(%)
感じる	172	37.6
少しは感じる	163	35.7
どちらともいえない	56	12.3
あまり感じない	57	12.5
全く感じない	8	1.8
無効回答	1	0.2
合計	457	100.0

**愛着度
73.3%**

第4次 (H15)



**愛着度
70%**

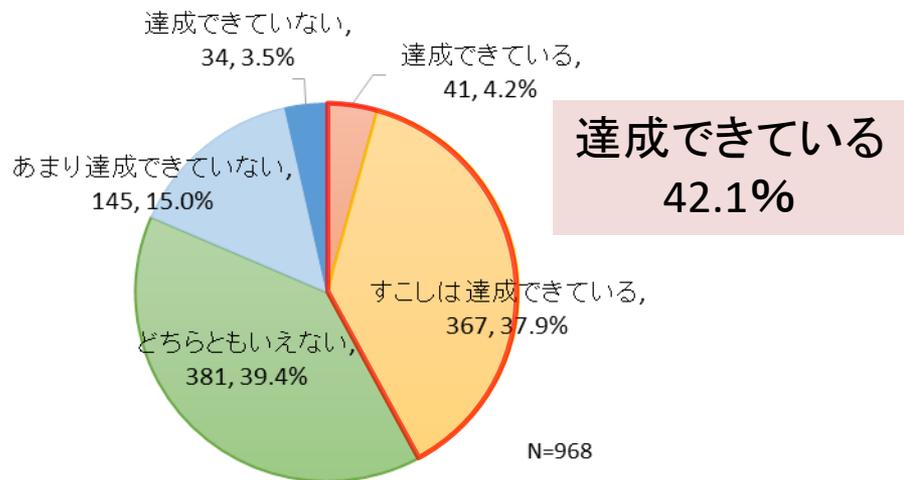
【参考】市民意識調査の類似設問
「塩尻市を誇りに思うか」(そう思う・計)

	そう思う・計 (%)
H27	51.1
H28	47.0
H29	47.7
H30	48.3
R1	49.4
R2	49.4
R3	53.0

(5) 都市像の評価

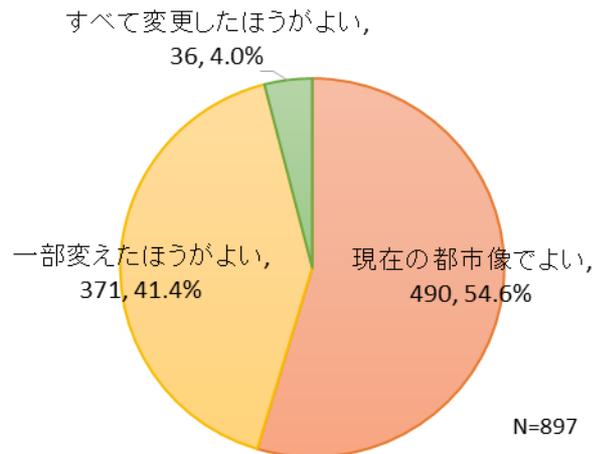
①現在の都市像の達成度

現在の都市像：『確かな暮らし 未来につなぐ田園都市』



- 都市像を達成できている + 少しは達成できていると評価する市民は**42.1%**
- **どちらともいえない**という回答が約4割で最も多い

②都市像の変更の必要性



【参考】第5次(H25)

『ともに築く 自立と創造の田園都市』

都市像	度数(人)	割合 (%)
現在のままで良い	316	69.1
一部変えたほうが良い	81	17.7
まったく変更したほうが良い	13	2.8
無効回答	47	10.3
合計	457	100.0

- 現在の都市像でよいとする回答が半数を超えてはいるが、前回の『ともに築く 自立と創造の田園都市』の時に比べ、**「一部変えたほうがよい」という意見が増えており、変更意見も少なくない。**

(6) 意見の地図2022

今回のアンケートの回答概要や、自由意見などともに意見の地図をつくりました。
塩尻市はどんなまちといえるでしょうか。
10年間で変わったところ、変わらないところはどこでしょうか。

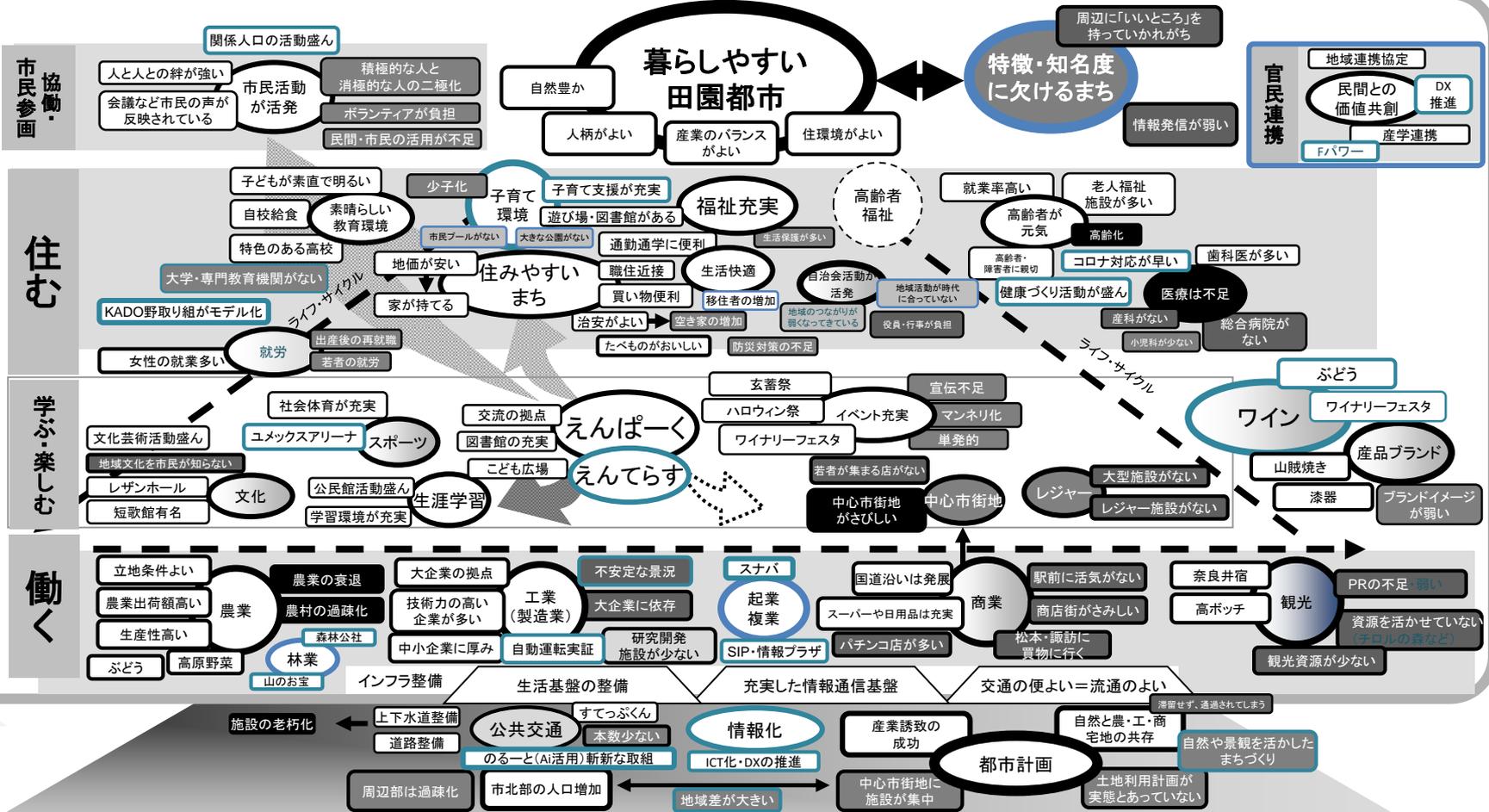
白 市の強み、よい特徴

黒 市の弱み、改善すべき特徴

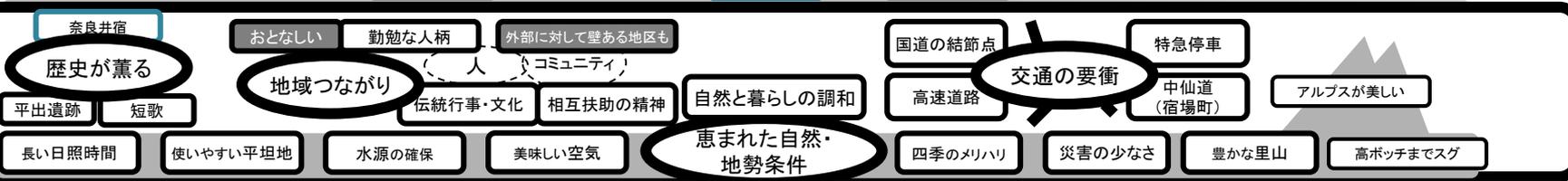
灰 人によって評価が異なるなど決定的な弱みではないが、改善の余地があるもの

新規追加ワード

現状



前提

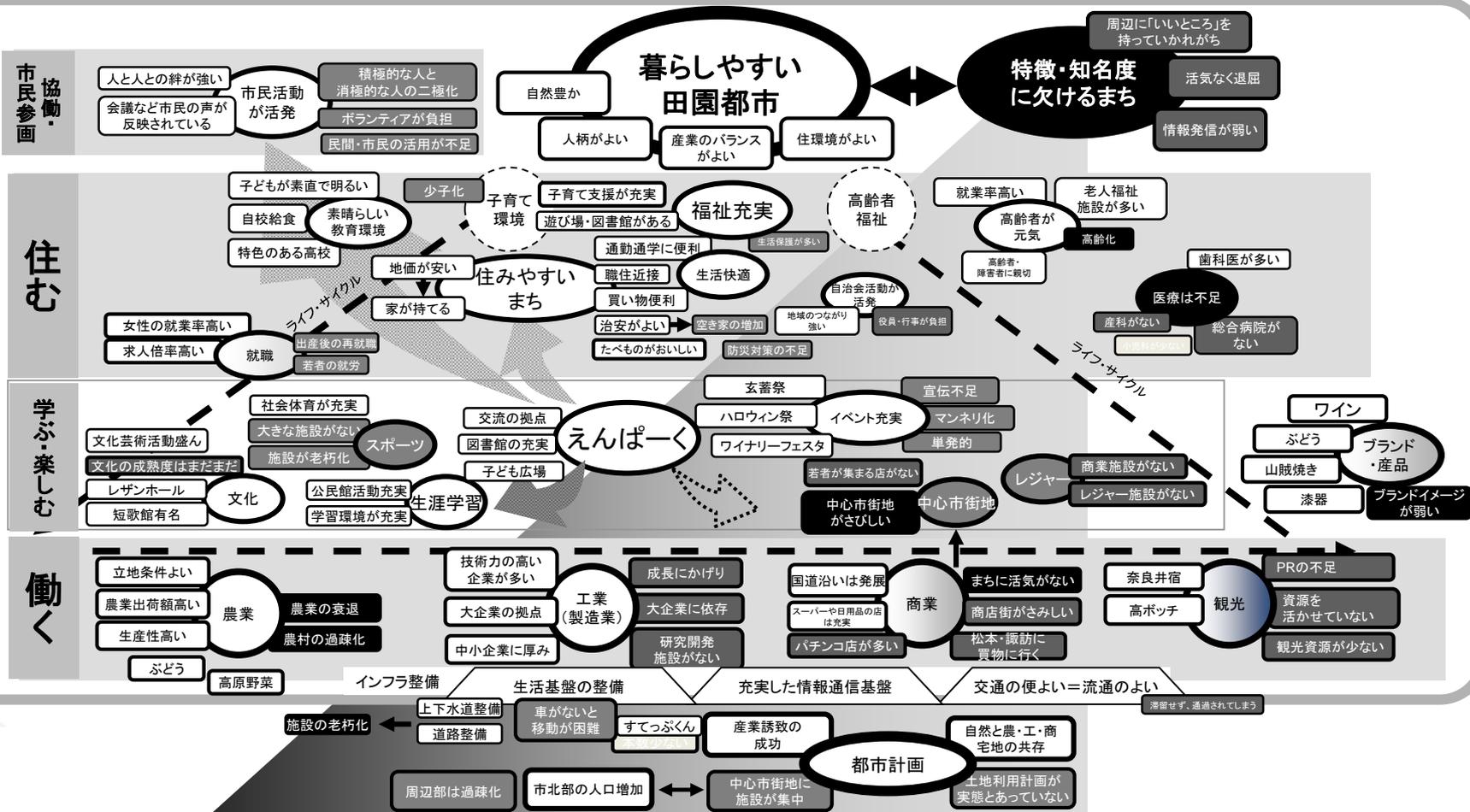


【参考】意見の地図2013

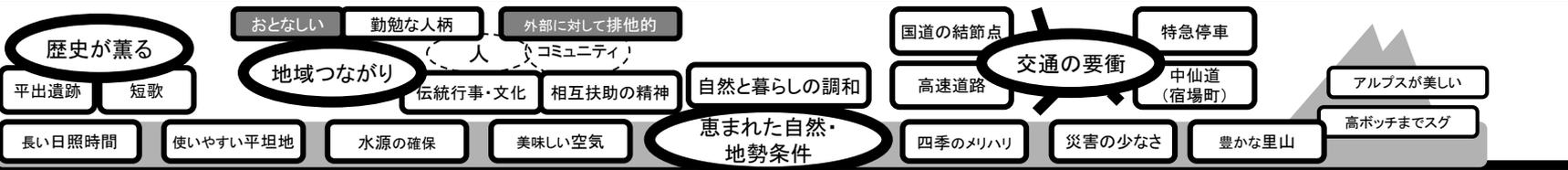
第五次総合計画策定のために今年も市民や市役所職員からのアンケートをもとに意見の地図をつくりました。塩尻市はどんなまちといえるでしょう？10年間で変わったところ、変わらないところはどこでしょう。

白 市の強み、よい特徴
 黒 市の弱み、改善すべき特徴
 灰 人によって評価が異なるなど決定的な弱みではないが、改善の余地があるもの

現状



前提



【参考】 意見の地図2003

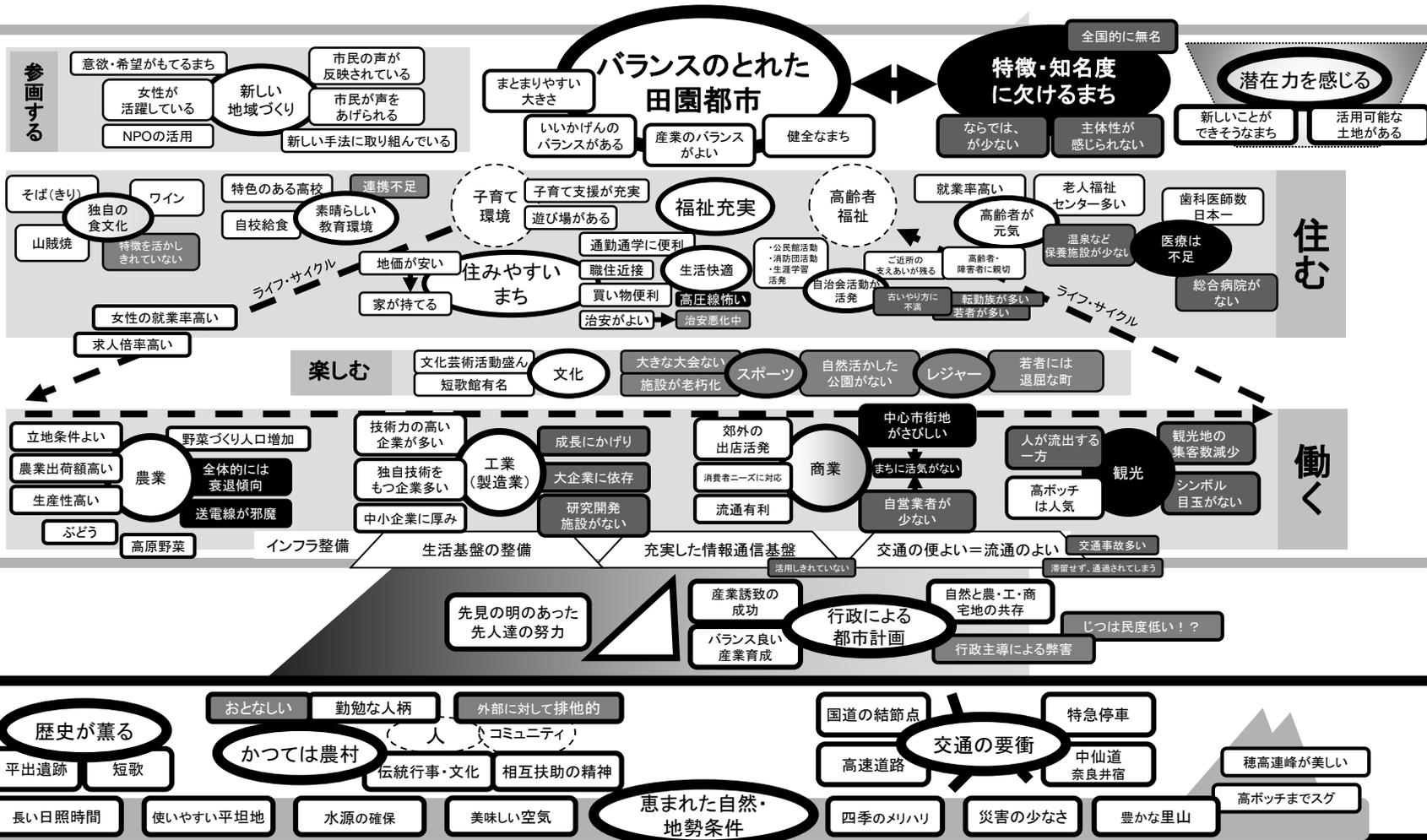
意見の地図2003は10年前に第四次総合計画を策定するとき、ワークショップ形式で行った審議会で出された意見や市民アンケートの結果をもとに作られたものです。
10年前のみんなの意見がひと目で分かるようになっています。

白 □ 市の強み、よい特徴
 黒 □ 市の弱み、改善すべき特徴
 灰 □ 人によって評価が異なるなど決定的な弱みではないが、改善の余地があるもの

現状

高度成長

前提



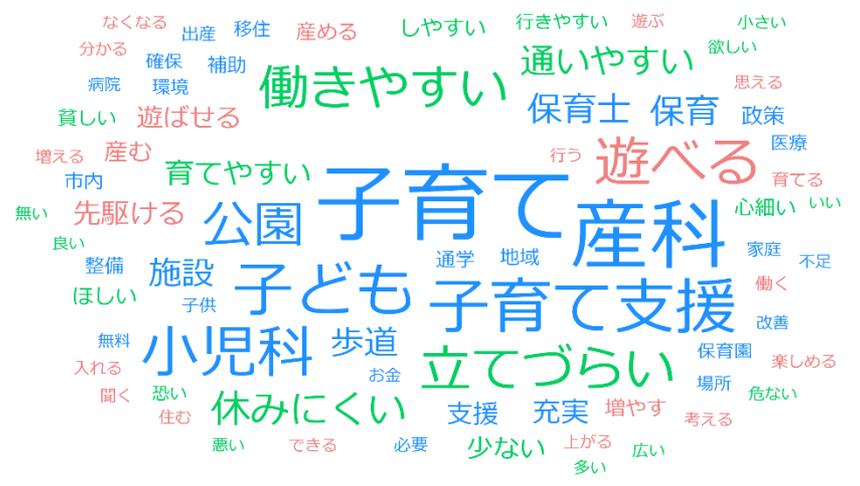
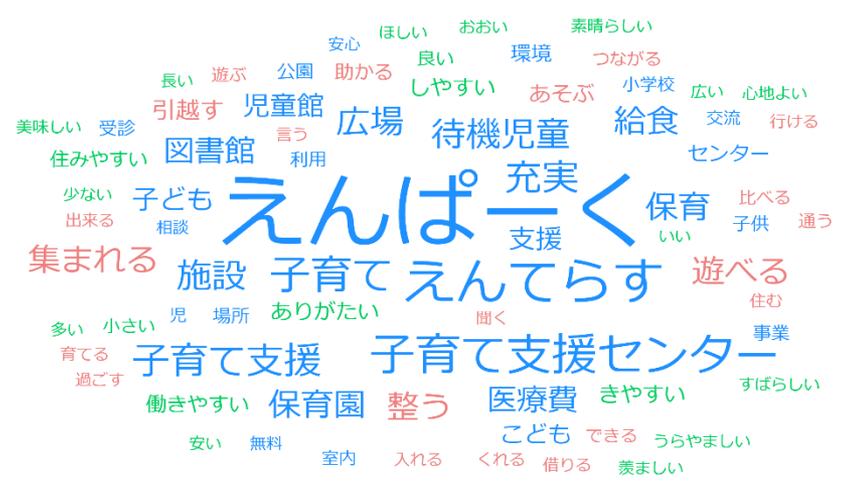
【資料編】

(3)③「良いところ・改善すべきところ」自由記述(10分野別テキストマイニング)

【良いところ】

【改善すべきところ】

(1)子ども・子育て分野



(2)学校教育・家庭支援

